

IRATSUME

1993

NO. 17



但馬むしの会

但馬むしの会会則

1. この会は、但馬むしの会と称する。
2. この会は、但馬地方の昆虫研究（昆虫相の解明等），および会員相互の親睦をはかることを目的とする。
3. この会は、その目的を果たすために次のことをする。
 - (1) 会誌IRATSUME（年1回）の発行
 - (2) 採集会などの催し
4. この会は、昆虫に興味をもち、会の目的に賛同する人は誰でも入会できる。
5. 会員は、会を維持するため、年額（2,000円）を負担しなければならない。
6. 会員は、会誌などの配布を受け、またこれに投稿することができ、催しに参加することができる。ただし、会費滞納が2か年以上継続し、通知しても連絡のないときは自然退会とみなす。
7. この会を運営していくため、本部に事務局をおき、会の代表とする。
8. 総会は年1回とし、役員改選、会則の改正など、会の運営上の重要事項を審議する。議決は、出席者の過半数の賛成を必要とする。
9. この会の会計年度は、暦年とする。

《目 次》

永幡嘉之：但馬の蝶10題	1
広畑政己：兵庫県におけるクロコノマチョウの分布の変遷	8
黒井和之：但馬の蝶分布資料	
シジミチョウ科ミドリシジミ族(その1)	15
黒井和之：美方郡西部のウスバシロチョウの新産地と知見	28
永幡嘉之：ウスバシロチョウの分布調査Ⅰ	31
永幡嘉之：ウスバシロチョウの分布調査Ⅱ	33
福井丈嗣：八重山採集旅行記 1992年6月9日～17日	35
上田尚志・山崎喜彦：但馬におけるトンボの採集記録	
(1)サナエトンボ科	43
上田尚志：オオエゾトンボを但馬で採集	49
上田尚志：銚子ヶ谷湿原のヒラサナエ	50
永幡嘉之：但馬のカミキリムシ '92	51
足立義弘：美方町秋岡で採集したマグソクワガタについて	71
足立義弘：兎和野高原のホソハンミョウの記録	72
永幡嘉之：村岡町でムネアカセンチコガネを採集	73
永幡嘉之：美方郡のアカネキスジトラカミキリ(1)	74
永幡嘉之：浜坂町におけるベーツヤサカミキリの採集記録	75
佐藤邦夫：キイロシリブトジョウカイを温泉町で採集	76
佐藤邦夫：笠形山よりコルリクワガタを発見	77
永幡嘉之：来日岳でコルリクワガタを採集	78
佐藤邦夫：ナガフトヒゲナガゾウムシについて	79

表紙：ホソハンミョウ

足立義弘・画

但馬の蝶 10題

永幡嘉之

1. 温泉町でイシガケチョウを採集

1992年に但馬で2頭のイシガケチョウを採集しているので報告する。

1 ♀ 兵庫県美方郡温泉町切畑 15-VI-1992 永幡嘉之 (写真1)

1 ♀ " " " 扇ノ山小ヅッコ 27-VII-1992 " (写真2)

前者は飛翔中を、後者はヒヨドリバナに訪れているところを採集した。食樹イヌビワは浜坂町などに自生しているが、幼虫は発見できなかった。なお、同年岡山・鳥取両県では多くの成虫の記録が出たほか、鳥取市では幼虫も発見されたという¹⁾。

2. キバネセセリの採集記録

県下では記録の少ない種である。筆者は氷ノ山山系で2頭採集した。

1 ♂ 兵庫県養父郡関宮町福定 氷ノ山 15-VIII-1988 永幡嘉之 (写真3)

1 ♂ " 美方郡美方町小代溪谷 7-VIII-1992 " (写真4)

氷ノ山では、氷ノ山越コース登山口の川原に15時頃、天候が悪化して雨の降り出す少し前に吸水に訪れていた。午前中多かったアオバセセリやコムラサキは姿を消し、本種の他に蝶の姿はなかった。小代溪谷では、晴天の18時頃林道で吸水していた。いずれも地表をせわしなく飛び回っていた。

3. 村岡町のホシチャバネセセリ

かつて関宮町梨ヶ原の氷ノ山山麓スキー場で採集したことがあったが、軟化展翅に失敗して破棄してしまった(1 ex., 25-VII-1986)。本年村岡町で採集した。

1 ♂ 兵庫県美方郡村岡町黒田 黒田スキー場 19-VII-1992 永幡嘉之

4. スジグロチャバネセセリとヘリグロチャバネセセリ

両種の分布状態はよく分からないが、採集個体以外にも本属の種を各地でしばしば見かけるので、今後注意していきたい。とりあえずは、採集個体についてのみ報告しておく。

スジグロチャバネセセリ

1 ♂	兵庫県養父郡関宮町丹戸	24-VII-1986	松本正孝
2 ♀	〃 〃 〃 〃	24-VII-1986	永幡嘉之
1 ♀	〃 〃 〃 〃	23-VII-1991	〃 (写真5)
1 ♂	〃 〃 〃 福定	6-VIII-1987	〃

ヘリグロチャバネセセリ

7 ♂	兵庫県美方郡浜坂町城山	22-VI-1991	永幡嘉之
3 ♀	〃 〃 〃 〃	6-VII-1991	〃
6 ♂	〃 〃 温泉町霧ヶ滝	20-VII-1992	〃

浜坂町城山では1992年にも採集している。

5. クロコノマチョウの採集例

本年但馬で3頭採集した。

1 ♂	兵庫県養父郡関宮町氷ノ山越付近	31-VII-1992	永幡嘉之
1 ♀	〃 美方郡美方町小代溪谷	2-VIII-1992	〃
1 ♀	〃 〃 浜坂町三尾	5-VIII-1992	〃

氷ノ山では尾根上のブナ林の林床から飛び立ったものを、小代溪谷では夕刻飛翔中を発見した。三尾でもやはり夕刻にススキにまとわりつくように飛んでいるところを採集。産卵飛翔と思われたのでススキを調べたが、卵はみつからなかった。

三木市での記録はすでに発表した²⁾、他にも未発表の古い記録があるので報告する。

1 ♀	兵庫県三木市志染町戸田	8-VII-1978	小倉 滋
-----	-------------	------------	------

採集日が7月8日であるが、秋型である。越冬個体の生存例としてはかなり遅いものと思われる。静岡県では7月28日という記録もあるという³⁾。

6. 関宮町で採集したクツカケモンキチョウ

モンキチョウのab. kutsukakensisと呼ばれるタイプに含まれると思われる個体を関宮町で採集しているので報告する。

1 ♂	兵庫県養父郡関宮町足坂	12-VII-1988	永幡嘉之 (写真6)
-----	-------------	-------------	------------

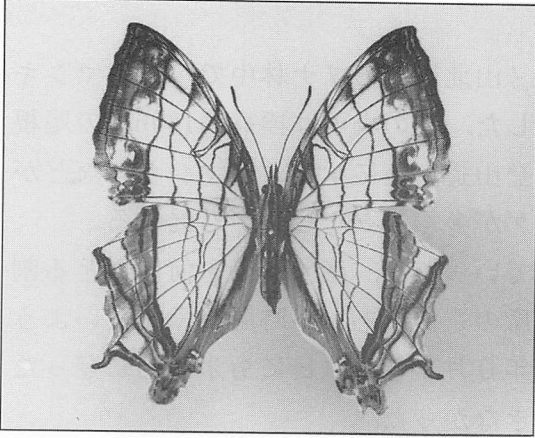


写真 1

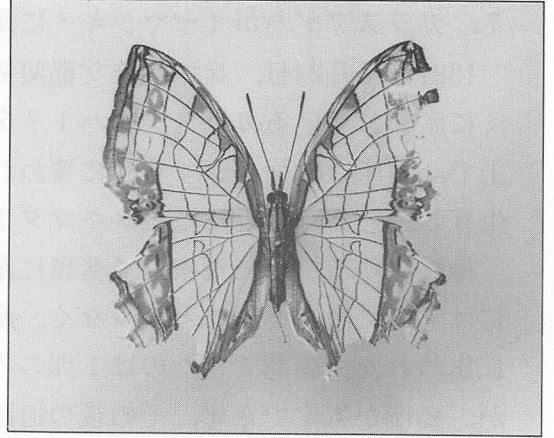


写真 2

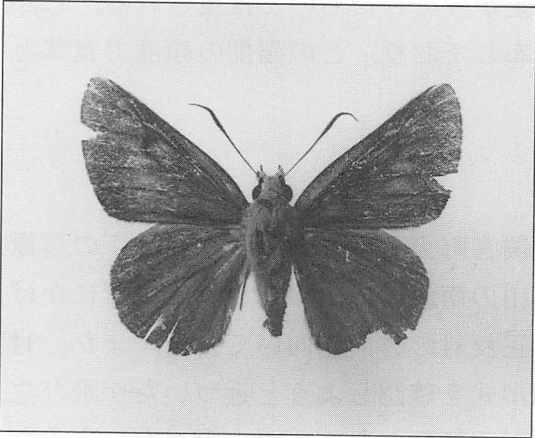


写真 3

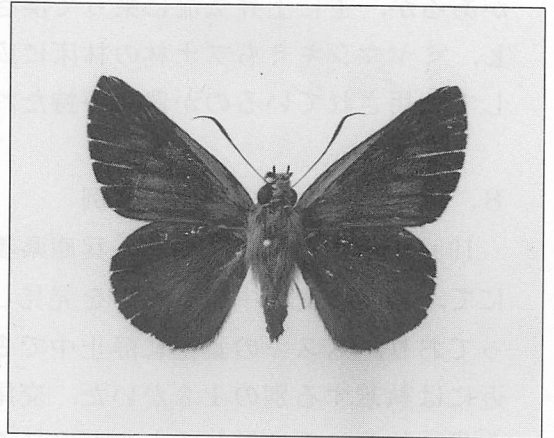


写真 4

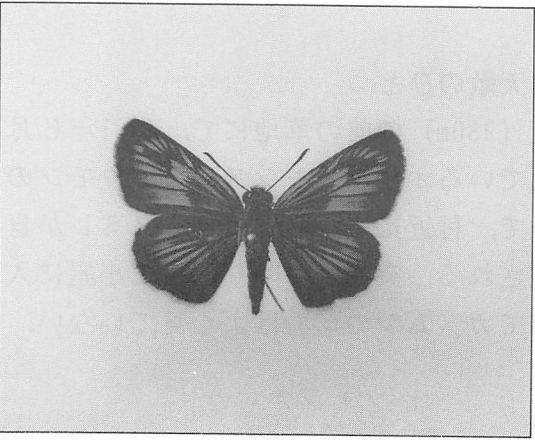


写真 5

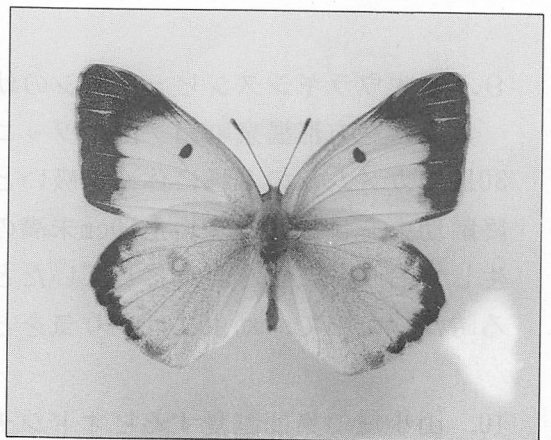


写真 6

7. カラスアゲハがミヤマシキミに産卵

1991年7月24日、兵庫県養父郡関宮町氷ノ山北尾根のブナ林中で、ミヤマシキミに産卵しているカラスアゲハ1♀を目撃した。この場所は標高約1300mの尾根上で、林床は一面チシマザサに覆われて、登山道沿いに少しミヤマシキミなどが生育している。付近にはヒメキマダラヒカゲが多く、クロヒカゲも混じる。

母蝶はゆるやかに飛来して葉裏に産卵していったが、産卵行動を何度もとる割には実際に産付することが少なく、産卵場所の選択にあたる時間がやや長いように思われた。確認できたのは1卵のみ。同年9月1日、8日にも氷ノ山に登ったが、場所が特定できず、その後の追跡はできなかった。

氷ノ山では山頂部でもカラスアゲハやミヤマカラスアゲハの姿を見かけることがあるが、主に上昇気流に乗って溪谷から上がってきたものと推定される。しかし、ミヤマシキミもブナ林の林床に広く分布しており、どの程度の頻度で食草として利用されているのか興味が持たれる。

8. ホソバセセリの交尾観察例

1991年7月14日16時18分、兵庫県養父郡関宮町大久保のスキーリフト下の草原にて、本種の交尾中の1ペアを発見した。山の南斜面であるため陽はすでにかけており、ススキの葉上に静止中で♂♀は正反対の方向を向いていた。また、付近には執着する別の1♂がいた。交尾飛翔形式を確認しようと近づいたが飛び立たず、故意に手を触れると♂が♀にぶら下がる格好となったが、飛べないようだった。両方一度にはばたくのでバランスがとれず飛べないように思われた。

9. オオウラギンスジヒョウモンの幼虫の天敵のひとつ

兵庫県美方郡温泉町扇ノ山小ツッコ小屋(980m)の前の草地にて、1991年6月30日にカメムシの1種に体液を吸いとられているオオウラギンスジヒョウモンの終齢幼虫を目撃した。地上10cm未満の草上で、付近には一面にニョイスミレが自生しており、これを食草にしていたと推定される。突如雨が降り出して小屋に入る時だったので、幼虫にばかり気をとられてカメムシの形態はよく見ていない。

10. 山小屋で集団越夏するヒオドシチョウ

本種の休眠には不明な点が多いとして最近注目を集めているようである⁴⁾。筆

者は偶然にも20頭にも及ぶ個体が山小屋のなかに集まっているのを観察する機会に恵まれたので、甚だ不十分ながらここに書き留めておきたい。

〔氷ノ山の山小屋〕

兵庫県養父郡関宮町の氷ノ山から鉢伏山に至るブンマワシコースは、冬期のスキーツアーのルートとして避難小屋も整備されている。そのなかで峠に位置する氷ノ山越（約1250m）の避難小屋は老朽化が目立ってきているが、1991年7月24日に立ち寄ったところ、内部の鉄の柱、壁に掛けられた雑巾、わら束などの下面に、全部で20頭のヒオドシチョウがとまっていた。扉を開けると大きな音が響き、やはり内部に多くいたザトウムシは体を震わせて警戒したのに対し、ヒオドシチョウは全く動かなかった。同日、氷ノ山北尾根や山頂で活動中の個体も数頭見られた。

次いで9月1日、再び同地を訪れた。小屋の中には23頭の本種がおり、そのうち1頭は白い菌類に冒されて落下していた。残りの22頭のとまっている場所は、7月とはやや異なっているように思えたが、マーキングもしなかったので詳しいことは分らない。そのうちの1頭をよく観察してみると、触角は翅の間に入れており、手を触れても動かず、完全に休眠に入っているようだった。しばらく手の上に乗せていると、わずかに脚を動かしたが、飛び立つまでには至らなかった。約3mのこの小屋の内部で、静止している部分を高さ別に調べたところ、40cm以下10頭、～80cm 1頭、～150cm なし、～200cm 1頭、～300cm 10頭であった。この日は天候が思わしくなく、活動中の成虫は発見できなかった。

9月8日には、坂田勉氏と氷ノ山に登り、休眠中の本種の写真を撮っていた（写真7・8）。ほぼ9月1日と変化がなく、静止している場所も同じであったが、先を急いでしまい、細かく数えないまま通過してしまった。小屋のなかにはおびただしいフクラスズメが見られ、やはり柱の隙間などで休眠に入っているようだった（写真9）。山頂直下のコシキ岩で活動中のヒオドシチョウ成虫を確認した（写真10）。

9月下旬に日本全国を襲った台風19号は各地に大きな被害をもたらしたが、風をともに受ける氷ノ山越の小屋も例外ではなかった。10月26日に訪れてみると、峠の目印だった大きな杉の木が途中から折れており、直撃を受けた小屋の屋根は大きくくぼんでしまっていた。中に入ってみると、このまま越冬するのではないかと期待を抱かせたヒオドシチョウの姿は全く見当たらなかった。台風の時には



写真 7



写真 8



写真 9



写真 10

相当大的な衝撃を受けたであろうが、そのために別の場所に移ったのか、それとも夏眠と越冬の場所が違うのかは定かでない。この10月26日にもまた少数の活動中の成虫が見られた。

以上が氷ノ山越の小屋における観察の全てである。この小屋は、地面と接する部分に40cm×40cm位の大きな穴があいており、入り込みやすかったものと思われる。他に大平頭、山頂、東尾根の小屋を見たが、大平頭は最近建て直されたばかりでヤマキマダラヒカゲ、クロヒカゲ、テングチョウなどが入り込んでいたが本種の姿はなかった。山頂は人の出入りが激しく、蝶の姿はなかった。東尾根の小屋のなかには数百頭のマダラカマドウマがおり、扉を開けると跳びはねる音が大変賑やかであった。ここにも蝶の姿はなかった。

〔扇ノ山の山小屋〕

兵庫県美方郡温泉町扇ノ山の小ツッコの山小屋では、一層断片的な観察例しかない。まず1991年6月28～30日、多くの本種の成虫が活動している時期に、小屋の2階の天井に3日間静止したまま全く動かない個体が1頭見られた。また、これとは別に、29日に小屋の中を飛んでいる成虫も1頭いた。やはり休眠場所を探しているようであったが追跡できなかった。

11月1日には、1階の窓の脇にじっと静止しているものが1頭いた。薪を燃やして煙が立ち込めたときに1度飛び立ち姿を消したが、翌朝には再び同じ位置に戻っていた。

この報文をまとめるにあたり、記録の発表をお許しいただいた小倉滋氏、ヒオドシチョウの写真を撮影して下さった坂田勉氏、標本写真を撮影していただいた足立義弘氏、兵庫県内の蝶の分布について日頃から御教示いただいている広畑政己氏、近藤伸一氏に深い謝意を表したい。

参考文献

- 1) 國本洸紀 (1992) イシガケチョウの多発生, ゆらぎあ10: 18.
- 2) 永幡嘉之 (1989) 三木市大村の昆虫類 I, 蝶相, 釜城生物1: 18-58.
- 3) 福田晴夫ほか (1984) 原色日本蝶類生態図鑑 (Ⅳ), 保育社, 大阪.
- 4) 同 上 (1983) " (Ⅱ), " "

兵庫県における クロコノマチヨウの分布の変遷

広畑政己

暖地性の蝶が近年分布を拡大しているが、本種もナガサキアゲハに続いて顕著にその傾向が現れている種である。

筆者の知る限りでは県下で1992年までに約90カ所の地点で本種が採集または目撃されているが、1970年頃までは宝塚市、神戸市、福崎町、大屋町など数カ所で採集されているにすぎなかった。

その後、淡路島や瀬戸内側の温暖な地域での記録が少ないながら次第に増え、ナガサキアゲハが多く見られるようになった1977年頃から、本種の記録も増えている。

1980年には夢前町雪彦山と新宮町善定で春季に本種が採集され、その前年に19頭もの個体が採集されていることもあって土着しているのではないかとと思われるようになってきた。しかしその後7年間は春季の採集記録もなく、採集例そのものも少ないまま小康状態を保ってきた。ところが1988年に相生市矢野で春に再び採集され、1991年には内陸部の波賀町原で、1992年には姫路市で2例、福崎町で2例の春季の採集記録があり、ここ数年の採集個体数も増えている状況から判断して、近年土着しているのではないかとと思われる。

また、JR新神戸駅周辺、相生市矢野町、芦屋市三条町など毎年連続して同一場所かその周辺で採集記録があるということも土着可能性を示唆している。

どのような要因で近年採集記録が増えているのかは定かではないが、冬期の苛酷な気象条件を克服することが最大の条件と思われるので、この点ここ数年の暖冬は本種にとって恵まれた気象条件といえる。

このような気象条件が続けば、今後個体群の密度を次第に高めながら分布を広げていくように思われるが、どのような経過を辿るか興味を引くところである。

これまでに採集記録のある産地を1例ずつあげると次の通りとなる。しかし、近年の状況から判断するとこの記録以外にもかなりの記録があるものと思われる。

記録をまとめるにあたり、近藤伸一、木村三郎、相坂耕作、森下泰治、山下剛史、黒田収、浅田卓、佐々木薫、西隆広、石井為久、高柳栄一、墨谷健、唐土洋

一、米村和繁、山本正勝、小倉滋、永幡嘉之の各氏に御支援いただいた。末筆ながらここに記し御礼申し上げる。

(表1) 年次別採集個体数表 (1950～1992)

年 次	'50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
採集数		1		1		1	3	2	3	1			1	1	

年 次	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
採集数						1	6		3	4	1		5	2	19

年 次	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92
採集数	18	1		6	8	13	2	6	8	10	17	37	10

採集記録 (各産地1例のみ)

1 ♀	宝塚市清荒神	1983-IX-18	加藤信一郎 ²⁹⁾
1 ♂	〃 切畑滝ヶ平井	1971-IX-5	松尾 9)
1 ♀	〃 宝塚高校内	1970-IX-30	柳沢俊二 ¹⁰⁾
	〃 宝塚付近	1955-VIII-5	佐手旗一郎 ¹¹⁾
	〃 長寿ヶ丘	1959-VII-15	佐藤啓一 ¹¹⁾
1 ♀	〃 仁川	1988-VII-17	18)
1 ex.	西宮市深谷町	1979-X-15	古川 澄 ³¹⁾
1 ex.	〃 高須町武庫川団地	1987-XI-19	竹中昭彦 ⁴⁴⁾
1 ♀	芦屋市三条町	1985-VII-24	西 隆広 ⁴³⁾
1 ex.(目)	〃 奥山	1985-IX-23	西 隆広 ⁴³⁾
1 ♀	〃 奥池南町	1987-IX-26	西 隆広 ⁴³⁾

神戸市垂水区太山寺			13)
	〃 北区山田町		13)
1 ♂	〃 〃 藍那	1980-XI-2	加藤昌宏 ¹³⁾
1 ♂	〃 〃 下谷上	1979-IX-11	高橋寿郎 ¹⁵⁾
1 ♀	〃 〃 有馬温泉	1951-IX-24	法西定雄 ¹⁶⁾
	〃 〃 鈴蘭台		14)
1 ♀	〃 兵庫区須佐野通	1962-IX-29	三木 進 ¹⁷⁾
1 ♂	〃 中央区布引貯水池	1991-VII-23	青木陽一 ³⁷⁾
1 ♂	〃 〃 JR新神戸駅	1989-VIII-17	岡村八郎 ⁴⁶⁾
1 ♂ 1 ♀	〃 長田区双葉町	1980-IX-22	山下剛史
1 ♀	〃 西区雌岡山	1991-X-6	近藤伸一
2 ♂	〃 西区押部谷	1991-X-3	青木陽一 ³⁷⁾
1 ♀	〃 灘区六甲学院構内	1974-X-12	杠 隆史 ³¹⁾
1 ex.	川西市芋生	1979-VIII-18	仲田元亮 ⁸⁾
1 ♂	〃 肝川	1980-VIII-4	山本 治 ⁴²⁾
	川辺郡猪名川町栃原	1974-IX-23	新家 勝 ⁴⁹⁾
4 ♂ 1 ♀	〃 〃 上野	1979-X-2	山本 治 ⁴²⁾
1 ♀	三木市志染町戸田	1978-VII-8	小倉 滋
1 ♂	〃 大村	1988-VII-22	永幡嘉之 ³⁵⁾
1 ♀	〃 福井	1992-X-16	浅田 卓
1 ♂	小野市室山町	1991-X-7	永幡嘉之 ³⁴⁾
1 ♀ (目)	〃 下来住町	1991-IX-16	近藤伸一
1 ♂	西脇市出合	1980-X-5	竹内俊行 ²⁶⁾
1 ♂	姫路市網干区新在家	1980-VIII-23	岩村 巖 ²⁶⁾
1 ♀	〃 〃 浜田	1977-IX-19	河野綾典 ²⁶⁾
	〃 飾磨区中島	1973-VII-13	井出敏晴 ²⁾
1 ♂	〃 〃 妻鹿	1992-V-5	稲田和久 ⁵²⁾
1 ♂	〃 山田町南山田	1992-V-17	木村三郎 ⁵²⁾
1 ex. (目)	〃 苦編	1989-X-20	稲田和久 ⁵²⁾
1 ex.	〃 坂田町	1990-IX-14	黒田 収
1 ex.	〃 野里	1987-XI-上旬	原伊佐男

1 ♀	飾磨郡夢前町雪彦山	1980-V-4	稲田和久 ³⁾
1 ex. (目)	" " 大村	1983-IX-23	木村三郎 ²⁷⁾
1 ex.	" " 菅生潤	1991-VIII	木村三郎
1 ♂	" " 小畑	1991	木村三郎
1 ♀	" " 暮坂峠	1991-X-5	稲田和久 ⁵²⁾
1 ex.	" 家島町宮	1980-X-31	上田尚志 ⁴⁾
幼虫	揖保郡新宮町二栢野	1991	唐土洋一
1 ♂	" " 善定	1980-VI-9	黒田龍一 ²⁶⁾
1 ♀ (目)	" 揖保川町伝城山	1989-X-14	稲田和久 ⁵²⁾
1 ♂	" 御津町新舞子	1977-VIII-30	稲田和久 ³⁾
1 ♀	" " 中島	1989-X-22	稲田和久 ⁵²⁾
1 ex. (目)	" " 稲富	1985-X-23	高柳栄一
1 ♂	" " 室津	1986-XI-16	広畑政己
1 ♂	神崎郡福崎町新	1991-IX-24	森下泰治
1 ♀	" " 西谷	1992-V-3	森下泰治
1 ♀	" " 山崎	1992-IV-29	森下泰治
1 ♂	" 香寺町久畑	1991-X-6	広畑政己
1 ♂	" 市川町上牛尾	1980-X-5	広畑政己 ²⁶⁾
1 ♂	" 大河内町上小田	1985-VII-14	墨谷 健 ³³⁾
1 ♂	宍粟郡一宮町福知溪谷	1973-VII-24	井出敏晴 ²⁾
1 ♀	" 波賀町原	1991-V-18	松田敏生 ⁴⁰⁾
	朝来郡生野町栃原旗ノ谷		西村公夫 ⁵⁾
1 ♂ (Br.)	佐用郡南光町船越山	1973-IX-2	稲田和久 ³⁾
1 ♂	" " 東徳久		春井博文
1 ♂	相生市三濃山	1980-X-17	川崎悟良 ⁶⁾
1 ♂	" 矢野町下頃	VIII-19	田辺 ²⁶⁾
1 ♀	" 相生	1980-X-17	川崎悟良 ⁶⁾
1 ♂	" 鯛浜	1971-X-26	浜田守弘 ²⁶⁾
1 ex.	赤穂郡上郡町野桑	1986-VII-28	唐土洋一
1 ex. (目)	龍野市龍野町白山	1979-X	川崎悟良 ⁶⁾
1 ♀	美方郡美方町小代溪谷	1992-VIII-2	永幡嘉之

1 ♀	〃	浜坂町三尾	1992-VII-5	永幡嘉之
1 ♀		養父郡大屋町筏	1956-VII-30	中尾淳三 ¹²⁾
1 ♂	〃	〃 若杉	1956-VII-30	中尾照之 ¹²⁾
2 ♂ 1 ♀	〃	〃 仲間	1958-IX-29	¹²⁾
1 ♂	〃	関宮町氷ノ山越付近	1992-VII-31	永幡嘉之
		三原郡南淡町大川	1974-XI-16	山崎俊道 ¹⁹⁾
1 ♂	〃	〃 新田北	1977-X-30	浅田 卓 ²⁰⁾
1 ♂	〃	〃 阿万上町	1988-IX-3	藤平 明 ⁵⁰⁾
1 ♂	〃	〃 諭鶴羽山	1984-IX-15	前川和昭 ³⁰⁾
1 ♀	〃	西淡町飯山	1990-IX-15	竹田俊道 ³⁶⁾
1 ♂		津名郡五色町広石中	1979-X-11	浅田 卓 ²¹⁾
1 ♂		洲本市相川	1971-VIII-10	武田義明 ²³⁾
1 ♂	〃	物部	1978-IX-6	堀田 久 ²⁴⁾
5 ♂ 3 ♀	〃	宇原	1990-VIII-25	菊池宏美 ⁵¹⁾
1 ♀	〃	千草	1989-VIII-14	前川和昭 ³⁸⁾
1 ♀	〃	安乎町北谷	1989-VIII-3	堀田 久 ⁴⁷⁾
	〃	鮎屋ダム周辺		菊池宏美 ³⁹⁾
	〃	初尾ダム		菊池宏美 ³⁹⁾
1 ♂	〃	由良	1991-XI-10	近藤伸一

参考文献

- 1) 相坂耕作 (1980) 姫路市の昆虫, てんとうむし (6) : 13.
- 2) 井手敏晴 (1976) 兵庫県に於けるクロコノマチョウの採集記録, MDK NEWS 26 (76) : 20.
- 3) 稲田和久 (1980) 西播地区でのクロコノマチョウの採集例, てんとうむし (6) : 36.
- 4) 上田尚志 (1981) 家島群島の昆虫 (2), きべりはむし 9 (1) : 9.
- 5) 西村公夫 (1967) 播州高原の蝶類について, 兵庫生物 5 (3-4) : 229.
- 6) 川崎悟良 (1982) クロコノマチョウを相生市で採集, ひろおび (6) : 37.
- 7) 山本 治 (1980) 兵庫県川辺郡でクロコノマチョウを採集, 月刊むし (107) : 39.

- 8) 仲田元亮 (1980) 能勢の昆虫その後 (3), きべりはむし 8 (1):15-16.
- 9) 石飛敦郎 (1971) 宝塚市でクロコノマチョウを採集, 昆虫と自然 6 (11): 28.
- 10) 柳沢俊二 (1971) クロコノマチョウを宝塚にて採集, MDK NEWS 23 (2): 23.
- 11) 東 正雄 (1960) 六甲山系の迷蝶, 兵庫の自然 のじぎく文庫, 神戸.
- 12) 中尾淳三 (1959) 氷ノ山の蝶類, NATURA (16): 17-19.
- 13) 山本広一・吉阪道雄 (1960) 兵庫県産蝶類目録 (3), 兵庫生物 4 (1):37-44.
- 14) 加藤昌宏・武衛晴雄 (1981) 神戸の蝶, 神戸市教育研究所, 神戸.
- 15) 高橋寿郎 (1980) ミヤマカラスアゲハ・クロコノマチョウ神戸市北区下谷上にて採集, きべりはむし 8 (1):18-19.
- 16) 法西定雄 (1952) コノマチョウ (クロコノマチョウ) の1産地, 新昆虫 5 (3): 44.
- 17) 三木 進 (1979) 六甲山系 (西部) の蝶, きべりはむし 7 (1): 6.
- 18) 川本 明 (1979) 藍那地区自然環境調査 VII, 蝶類, 阪神道路公団 神戸.
- 19) 登日邦明 (1975) 南淡町大川にクロコノマチョウ産す, Parnassius (22): 8.
- 20) 浅田 卓 (1978) 南淡町大日ダムでクロコノマチョウ採集, Parnassius (18): 17.
- 21) 浅田 卓 (1981) コノマチョウ属2種の採集記録について, Parnassius (23): 1.
- 22) 浅田 卓 (1980) 津名郡にてクロコノマチョウを採集, Parnassius (22): 8.
- 23) 登日邦明 (1971) 淡路島でクロコノマチョウ採集, MDK NEWS 23 (2):23-24.
- 24) 堀田 久 (1978) 洲本市内でクロコノマチョウを採集, 昆虫と自然 13 (13): 15.
- 25) 柳沢俊二 (1968) 甲山周辺の蝶, 甲陵生物 (3): 17.
- 26) 広畑政己 (1982) 兵庫県産蝶類分布資料 (2), てんとうむし (8) 30-40.
- 27) 広畑政己 (1984) 兵庫県産蝶類分布資料 (3), てんとうむし (9) 18-24.
- 28) 広畑政己 (1987) 県下に於けるクロコノマチョウの分布について, てんとうむし (10): 70.
- 29) 加藤信一郎 (1984) 宝塚市清荒神のチョウ, きべりはむし 12 (1): 29.
- 30) 前川和昭 (1984) 採集4例報告, Parnassius (31): 7.
- 31) 杠 隆史 (1985) 六甲山系の蝶, Crude (26): 13.
- 32) 西 隆広 (1984) 芦屋市の蝶, てんとうむし (9): 28-38.

- 33) 中村知史他 (1988) 日本産蝶類239種類の記録, SPINDA (3) : 2-66.
- 34) 永幡嘉之・芝直幸 (1992) ウスイロコノマチョウを追って,
因幡のむし (27) : 17.
- 35) 永幡嘉之 (1989) 三木市大村の昆虫類I, 蝶相, 釜城生物 (1) : 18-58.
- 36) 竹田俊道 (1991) クロコノマチョウ採集例, Parnassius (37) : 2.
- 37) 青木陽一 (1992) 神戸市内におけるクロコノマチョウの採集例,
蝶研フィールド7 (2) : 29.
- 38) 前川和昭 (1990) チョウ採集2例, Parnassius (36) : 6.
- 39) 菊池宏美 (1992) 淡路島での蝶の採集, Parnassius (38) : 1-6.
- 40) 松田敏生 (1992) 兵庫県波賀町におけるクロコノマチョウの採集例,
蝶研フィールド7 (10) : 28.
- 41) 岡村八郎 (1990) 奈良県兵庫県で採集したコノマチョウ属3例,
蝶研フィールド5 (10) : 28.
- 42) 大阪昆虫同好会 (1989) 北摂の蝶, 宝塚.
- 43) 西 隆広 (1988) 芦屋市内におけるクロコノマチョウの採集例,
きべりはむし16 (1) : 8-9.
- 44) 竹中昭彦 (1988) 兵庫県西宮市でクロコノマチョウを採集,
蝶研フィールド3 (7) : 36.
- 45) 相坂耕作 (1988) クロコノマの話題 (1), 姫昆サロンニュース(83) : 4.
- 46) 岡村八郎 (1989) クロコノマチョウを新神戸駅で採集,
蝶研フィールド4 (11) : 28.
- 47) 堀田 久 (1990) 洲本市安乎町でクロコノマチョウを採集,
Parnassius (36) : 3.
- 48) 蝶研出版 (1990) 蝶類年鑑1990, 蝶研出版.
- 49) 仲田元亮 (1982) 能勢の昆虫 (蝶の部), 大阪.
- 50) 藤平 明 (1990) 阿万でクロコノマチョウを採る, Parnassius (36) : 4.
- 51) 菊池宏美 (1991) 淡路島の蝶類採集録, Parnassius (37) : 1-2.
- 52) 相坂耕作 (1992) クロコノマチョウの話題 (2),
姫昆サロンニュース (84) : 2.

但馬の蝶分布資料

シジミチョウ科ミドリシジミ族 (その1)

黒井和之

但馬地域には、20種のシジミチョウ科ミドリシジミ族が生息している。これまでに本地域のまとめとして、高田・井出 (1978) や木下ら (1986) によって、すぐれた報文が発表されているが、今回、それらの報文には取り上げられなかった文献を整理してみた。また、その後いくつかの新産地が見つかっており、それらを追加することで本地域の蝶相が少しでも解明できればと思う。

今回は、ミドリシジミ族6種のデータを整理しながら、分布および気のついた点などを紹介していきたい。なお、データの末尾のコードは引用文献ナンバーとして示した。また※印はこれまでに記録のない新産地である。

1. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri*

本種は、現在までに14の産地で記録がある。その傾向は、平地から低山地にかけて集中しているように思う。しかし、大屋町氷ノ山や天滝のような山地帯にも生息地があり、幼虫の食草であるモクセイ科イボタノキ・ミヤマイボタの自生する地域では今後も発見されることと思う。なお、成虫の出現期が他のミドリシジミ族と比べると10日ほど早く、本種だけを狙って採集に行かないことも記録が少ない要因のように思う。

《データ》

氷ノ山・来日岳・豊岡市 (上佐野, 土淵) ・大屋町 (天滝) ・日高町 (分尾) 7)		
1963-V-27	1 ♂	豊岡市土淵 木下 13)
1974-VI-6	1 ♀	小島 小林 14)
1979-VI-14	1 ♂	福成寺 木下 13)
1982-VI-21	1 ♂	下鶴井 前平 13)
1961-VI-6	1 ♀	城崎町雲光寺 (来日岳) 木下 13)
1964-VI-3	3 ♂ 2 ♀	竹野町須谷 小崎 13)
1981-VI-15	3 ♂	日高町鶴岡 福井 13)

1985-VI-7	2 ♂	日高町鶴岡	福井 13)
1985-VI-9	2 ♂	鶴岡	福井 13)
-VI-10	5 ♂ 1 ♀	鶴岡	前平 13)
-VI-10	2 ♂ 1 ♀	鶴岡	木下 13)
1981-VI-15	1 ♂	栃本	木下 13)
1985-VI-17	1 ♂	栃本	木下 13)
-VI-18	1 ♂	栃本	福井 13)
1977-III-19	2 卵採集 (孵化せず死亡)	浜坂町田君	高田 14)
1986-VI-15	3 exs.	城山	黒井 17)
1988-VI-21	1 ex.	城山	黒井 18)
1992-VI-6	1 ♂	城山	永幡
1965-VI-28	1 ♀	大屋町天滝	木下 13)

2. ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana*

本種は、低山地から山地帯にかけて広く分布するが、個体数が少なく稀種のひとつである。これまでに17ヵ所の既産地が報告されているが、データをよく見るとほかのミドリシジミ族にはあまり出てこないような地名がいくつかある。たとえば、豊岡市下鶴井・日高町大岡山・村岡町祖岡など、本種の採集地としてはあまり訪れないところであり、また採集された個体数も少なく、行けば確実に採れる種ではない。目的とした蝶の副産物として、たまたま採れたということであろう。食草であるモクセイ科コバノトネリコ・シオジの自生状況の調査、および冬期の卵調査をすれば、まだまだ産地が増えると思う。

《データ》

氷ノ山 (杉ヶ沢) ・扇ノ山 (上山高原) ・大岡山・

		豊岡市 (森尾, 赤石) ・大屋町 (筏)	7)
1975-VI-15	1 ex.	豊岡市下鶴井	足立 3)
-VI-17	2 ♂ 1 ♀	小島	小林 14)
1978-VI-26	1 ex.	城崎町来日岳	福井 13)
-VII-3	1 ♂	来日岳	白井 14)
1984-VI-18	1 ex.	来日岳	福井 13)

1983-VI-14	1 ex.	城崎町大師山	福井 13)
1968-VI-28	1 ♂	日高町大岡山	木下 13)
1978-VII-3	1 ♂	稲葉	高田 14)
1980-VI-13	1 ♂	鶴岡	木下 13)
1984-VII-7	1 ♂	村岡町耀山	前平 13)
1992-VII-8	1 ♂	柵岡	永幡 ※
1992-VII-2	1 ♂	温泉町海上	永幡 ※
-VII-6	1 ♀	湯谷	川元 20)
1977-IV-3	終齢幼虫 1 頭採集, 1 ♀ 羽化	関宮町鶴	高田 14)
1975-VII-2	1 ♀	大屋町筏	糺谷 14)

3. オナガシジミ *Araragi enthea*

本種の分布域については、「北限を城崎郡香住町三川とし、南限の宍粟郡山崎町上ノ（播磨地方）とした地域内に広く分布地が確認された。とくに宍粟郡・養父郡下には産地が多く、個体数も稀ではないが全般的に発生地は局限される傾向が強い。

なお現在までの垂直分布は標高350～900m前後である。現在まで再度にわたり、北部円山川より東部、中南部の市川以東の地域についても調査を行っているが発見していない。」（高田・井出より抜粋）という記述がある。

ミドリシジミ族の中ではどちらかといえば山地性の傾向が強いように思う。しかし、幼虫の食草であるクルミ科のオニグルミは比較的平地に近い川沿いにも自生しており、思わぬ低標高地で発見される可能性がある。また本種は採卵が容易なので冬期の卵調査が望まれる。

《データ》

氷ノ山（杉ヶ沢）・日高町（阿瀬溪谷）			7)
1977-XI-21	4 卵採集, 1 ♀ 羽化	香住町三川	若林・高田 14)
1977-VII-31		日高町阿瀬溪谷	谷角 2)
-VII-31	4 ♂ 3 ♀	金谷	高田・井出 14)
-VIII-3		阿瀬溪谷	木下・谷角 2)
-VIII-3	1 ♂	金山廃村	木下 13)

1978-VII-8	1 ♂	日高町金山・蘇武山系	木下 5)
-VII-16	2 ♂	金山・蘇武山系	木下 5)
-VII-16	2 ♂	金山麓村	木下 13)
-VII-8	1 ♂	金山峠	木下 13)
1977-X-17	1 卵採集 (孵化せず死亡)	村岡町和佐父	高田 14)
1977-X-30	6 卵採集, 1 ♂ 羽化	温泉町肥前畑	高田・井出 14)
1992-I-15	30 卵採集 (オニグルミ)	霧ヶ滝	黒井 ※
-I-15	2 卵採集 (オニグルミ)	花口	黒井 ※
1976-IV-4	4 卵採集, 1 ♀ 羽化	美方町熱田	高田 14)
1977-X-14	10 卵採集, 3 ♂ 2 ♀ 羽化	八鹿町妙見	高田・井出 14)
1977-X-10	12 卵採集, 2 ♂ 1 ♀ 羽化	関宮町須賀ノ山	高田・福田 14)
1976-IV-5	3 齡幼虫 1 頭採集, 1 ♂ 羽化	養父町建屋	高田 14)
1964-VII-6	1 ex.	大屋町天滝	小崎 13)
1977-XI-19	6 卵採集, 1 ♂ 1 ♀ 羽化	横行	若林・高田 14)
1978-III-6	18 卵採集, 6 ♂ 2 ♀ 羽化	朝来町平野	高田 14)

4. アカシジミ *Japanica lutea*

本種は海岸部から山地帯まで幅広く分布しており、普通種のひとつである。しかし、これまでに報告されている既産地はわずか30数ヵ所と少なく、本来ならば地域内全体が黒く塗り潰されてもおかしくない種であろう。私も採集に行って本種を見つけても、目的とした蝶に気をとられてネットを出さないことがある。今後は反省の意味からも、新産地の記録を増すように心がけたい。

《データ》

氷ノ山 (杉ヶ沢) ・来日岳・

		豊岡市 (妙楽寺, 愛宕山, 立石, 奥野) ・大屋町 (筏)	7)
1978-VI-18		出石町茗荷谷	広畑 4)
-VI-26		東床ノ尾山山頂	広畑 4)
-VI-26	1 ♂ 1 ♀	桐野 (床ノ尾山)	木下 13)
1963-VI-14	5 ♂	豊岡市妙楽寺	木下 13)
1965-VI-14	6 ♂	妙楽寺	木下 13)

1979-VI-4	1 ♀	妙楽寺	木下 13)
1980-VI-10	1 ♂	妙楽寺	木下 13)
1981-VI-17	2 ♂	妙楽寺	木下 13)
-VI-17	1 ♂	妙楽寺	福井 13)
1966-VI-12	1 ♂	愛宕山	木下 13)
1978-VI-6	1 ♂	愛宕山	木下 13)
-VI-8	1 ex.	愛宕山	福井 13)
1980-VI-12	1 ♀	愛宕山	木下 13)
1964-V-31	1 ♀	奥野	木下 13)
1978-VI-15	1 ♀	三開山	木下 13)
1979-VI-14	2 ♀	福成寺	木下 13)
1982-VI-16	3 ♂	江野	前平 13)
1985-V-29	1 ex.	中ノ郷	黒井 13)
1981-VI-16	2 exs.	氣比(白山)	福井 13)
1978-VI-18	2 ♂	城崎町来日岳山頂	木下 13)
1979-VI-17	1 ♂	来日岳山頂	木下 13)
1980-VI-22	2 exs.	来日岳	福井 13)
1981-VI-16	1 ex.	来日岳	福井 13)
1981-VI-24	1 ex.	来日岳	福井 13)
1983-VI-8	1 ex.	来日岳	福井 13)
1964-VI-3	2 exs.	竹野町須谷	小崎 13)
1977-V-11	2 卵採集, 1 ♂ 羽化	香住町三川	高田 14)
1978-VI-17	1 ♂	日高町岩中	木下 13)
1979-VI-17	2 ♂	上ノ郷	木下 13)
1978-VI-15	1 ♂	栃本	井出 14)
1981-VI-15	1 ♂	栃本	木下 13)
1984-VI-11	2 ♂ 1 ♀	栃本	前平 13)
1978-VII-1	1 ♀	名色林道	木下 13)
-VII-1	3 exs.	名色林道	福井 13)
1992-VI-6	2 exs.	浜坂町城山	永幡
-VI-8	2 exs.	城山	永幡

1992-VI-10	2 exs.	浜坂町城山	永幡
1963-VI-25	1 ex.	村岡町耀山	小崎 13)
1992-VII-18	1 ♂	耀山	黒井
1978-VII-17	1 ♀	祖岡	井出 14)
1992-VI-13	1 ex.	村岡	永幡
-VI-27	2 exs.	村岡	永幡
1982-VII-3	2 exs.	温泉町上山高原	黒井 13)
1991-VI-29	1 ex.	上山	永幡 19)
1983-VI-4	2 exs.	美原高原	黒井 13)
1977-X-30	1 卵採集, 1 ♂ 羽化	海上	高田・井出 14)
1992-VI-13	4 exs.	越坂	永幡
1981-VI-20		美方町小代スキー場	加野 11)
-VI-21		神水	加野 11)
1977-V-16	1 卵採集, 1 ♀ 羽化	関宮町杉ヶ沢	高田・井出 14)
1964-VI-28	2 exs.	大屋町杉ヶ沢	小崎 13)
1983-VI-25		杉ヶ沢	12)
1975-X-3	1 卵採集 (孵化せず死亡)	和田山町糸井溪谷	高田・井出 14)
1972-VI-19	1 ex.	生野町栃原	井出 14)

5. ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata*

本種については疑問に思うことがある。これまでの既産地が円山川流域でしか知られておらず、もっとも西寄りの産地は日高町栃本である。それより西部の城崎郡と美方郡は大きな空白地となっており、一部の地域を除けばある程度調査されているにもかかわらず採集記録がない。今のところ生息していないと断言はできないが、いない可能性が高い。三川山-蘇武岳-妙見山を南北に結ぶ山系の西側には侵入できない何かがあるのだろうか。とりあえず、香住町三川山および日高町神鍋高原・金山峠周辺を徹底的に調査してみる必要がある。また、南部の地域では大屋町糸原で1雌の採集記録があるが、北部同様に不明な点が多く、今後の調査が待たれる。

《データ》

豊岡市（妙楽寺，奥野，立石，森尾）

1963-VI-14	1 ♀	豊岡市妙楽寺	木下 13)
1972-VI-15	1 ♂	妙楽寺	木下 13)
1985-VI-9	2 ♂ 1 ♀	妙楽寺	木下 13)
1978-VI-6	1 ♂ 1 ♀	愛宕山	木下 13)
-VI-8	1 ♂ 1 ♀	愛宕山	福井 13)
1980-VI-12	2 ♂	愛宕山	木下 13)
1978-VI-15	2 ♂	三開山	福井 13)
1983-VI-15	1 ♀	城崎町来日	福井 13)
1985-VI-12	1 ♀	来日	福井 13)
1978-VI-17	2 ♀	日高町岩中	木下 13)
-VII-7	1 ♂	岩中	木下 13)
1979-VI-17	1 ♀	鶴岡	木下 13)
-VI-17	1 ♂ 1 ♀	鶴岡	小崎 13)
1980-VI-13	1 ♀	鶴岡	木下 13)
1978-VI-15	1 ex.	栃本	井出 14)
1979-VI-23	1 ♀	栃本	木下 13)
1983-VI-15	1 ♀	栃本	福井 13)
1984-VI-18	1 ♂ 1 ♀	栃本	前平 13)
1985-VI-12	1 ♀	栃本	福井 13)
1985-VI-15	1 ♂	栃本	木下 13)
1985-VI-18	2 ♀	栃本	福井 13)
1982-VI-9	2 ♂	上ノ郷	前平 13)
1984-VI-14	1 ♂ 1 ♀	小河江	木下 13)
1963-VII-18	1 ♀	大屋町糸原	中尾 14)
1978-VI-18	1 ♀	和田山町糸井溪谷	広畑 4)

6. ウラミスジシジミ *Wagimo signata*

本種も稀種のひとつであり，個体数が少ない．平地から山地帯にかけて幅広く分布するものと思うが，既産地は18ヵ所しかなく，採集データを見ても一度に多

数採集されることはない。

生態についての知見では、この蝶の生息環境はほかのミドリシジミ族とは多少異なっており、雑木林内の込み入った所より、どちらかというところし開けた草原の林縁を好むように思う。私が採集した産地（村岡町耀山・相岡、温泉町上山高原）がそのような特徴をもった環境であり、ススキの上をヒラヒラ舞う個体を何頭か目撃している。今後も新産地が発見されることと思うが、これらの知見が多少なりとも調査の参考になればと思う。

《データ》

氷ノ山（杉ヶ沢）・妙見山・豊岡市（奥野）・日高町（岩中）・大屋		7)
1976-II-21	2 卵採集, 1 ♂ 羽化	但東町天谷峠 高田・井出 14)
1978-VII-27	1 ♂	豊岡市神野山 遠藤 6)
1983-VI-7	1 ♂	妙楽寺 福井 13)
1964-VI-19	1 ex.	奥野 小崎 13)
-VI-19	1 ex.	奥野 木下 13)
1978-VI-20	2 ex.	城崎町来日岳 井出 14)
-VII-11	1 ex.	来日岳 福井 13)
1978-VI-29	1 ex.	竹野町小丸 井出 14)
1977-VII-7	1 ♂	日高町岩中 木下 13)
-VII-9	1 ex.	岩中 木下 13)
1978-VI-20	2 ex.	栃本 井出 14)
1979-VI-23	1 ♂	栃本 木下 13)
1983-VI-30	2 ♂	山宮 前平 13)
1976-III-14	3 卵採集, 1 ♀ 羽化	金谷 若林・高田 14)
1978-VI-26	1 ♂	名色林道（蘇武岳） 木下 13)
-VII-1	1 ex.	名色林道 福井 13)
-VII-13	2 ♂	名色林道 木下 13)
1977-XI-20	1 ex.	村岡町村岡 高田 14)
1978-VII-14	1 ♀	耀山 木下 13)
-VII-14	1 ex.	耀山 福井 13)
-VII-16	2 ♀	耀山 木下 13)

1979-VII-3	1 ♂	村岡町耀山	木下 13)
-VII-5	1 ex.	耀山	福井 13)
-VII-5	3 exs.	耀山	小崎 13)
-VII-6	1 ♂	耀山	木下 13)
-VII-6	4 exs.	耀山	小崎 13)
1981-VII-4	1 ex.	耀山	福井 13)
1983-VI-25	1 ex.	耀山	福井 13)
1984-VI-30	1 ex.	耀山	福井 13)
-VII-3	1 ♂	耀山	前平 13)
1992-VII-18	1 ex.	耀山	黒井
1982-VI-27	2 exs.	祖岡	黒井 13)
1983-VII-2	2 exs.	祖岡	黒井 13)
1982-VII-3	1 ex.	温泉町上山高原	黒井 13)
1977-V-5	3 卵採集, 1 ♀羽化	関宮町杉ヶ沢	高田・井出 14)

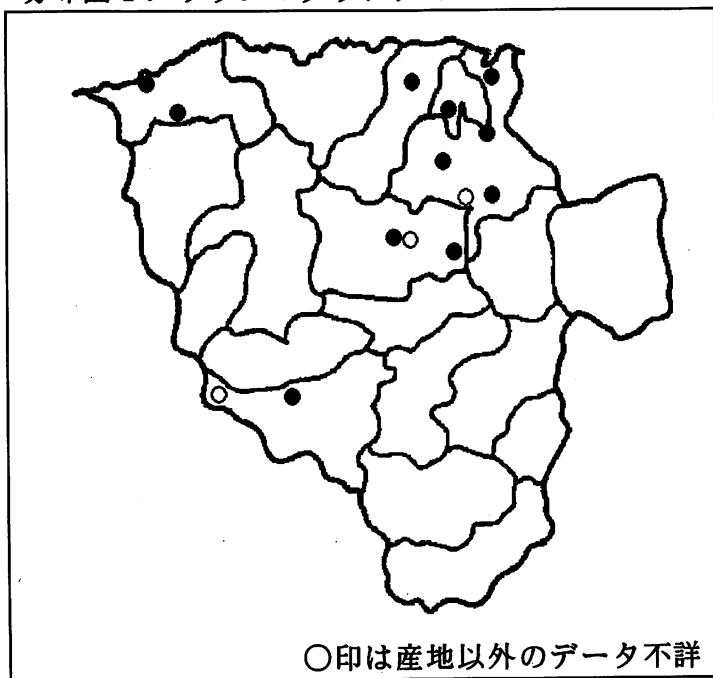
〈まとめ〉

但馬地域は平野が少なく、その大部分は1000m級の山地帯であり調査されていない地域が多い。しかし近年、過疎対策の一環として広域林道の整備がいたる所で行われており、環境破壊の元凶と批判しているものの、車で簡単に入れるようになり、調査をするうえでは便利になった。今後はそれらの地域での調査を心がけるとともに、円山川以東および養父郡・朝来郡などの南部の地域にも目を向けたい。また、ここで取り上げた産地のデータ以外にも、各人の標本箱や三角紙のなかで眠っている新産地を含めた記録があることと思う。ミドリシジミ族だけではなく、どんな普通種の記録でも発表しておけば、本地域の昆虫相を解明するという、本会の趣旨のうえでもたいへん意義があり、次への橋渡しにもなることと思う。

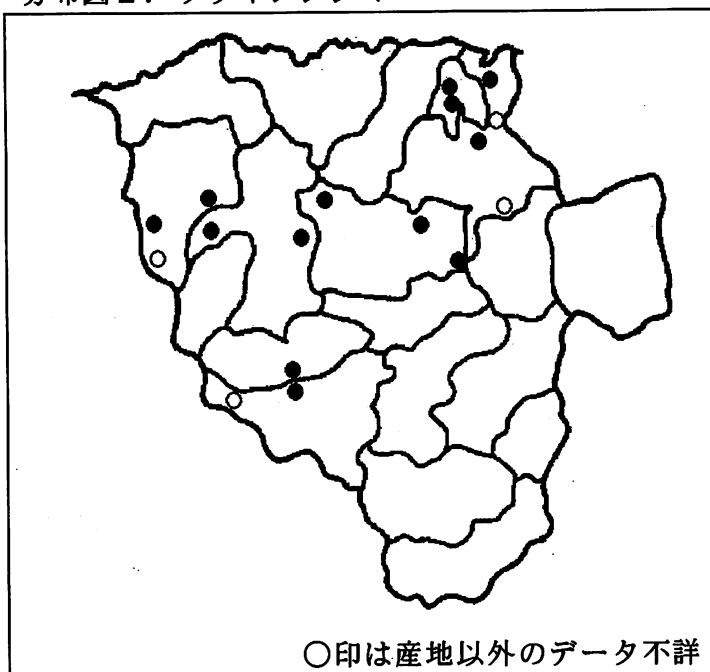
今回は、私自身これまでの文献すべてに目を通す時間的余裕がなかった。次回は少しでも多くの文献に目を通すとともに、地域内在住の同好者の聞き取り調査を行って、少しでも完成度の高い報文にしていきたいと考えている。

なお、データの提供などでお世話になった永幡嘉之氏には、この場を借りてお礼申し上げたい。

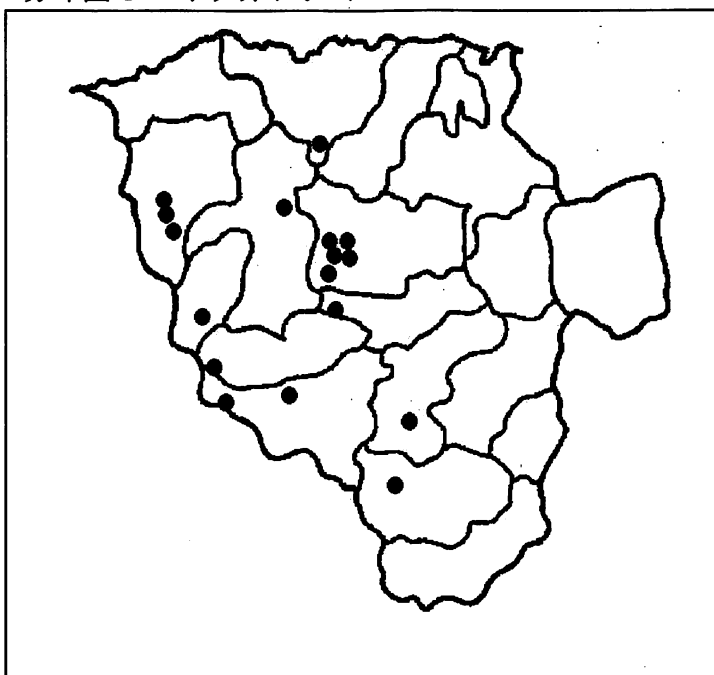
分布図 1. ウラゴマダラシジミ



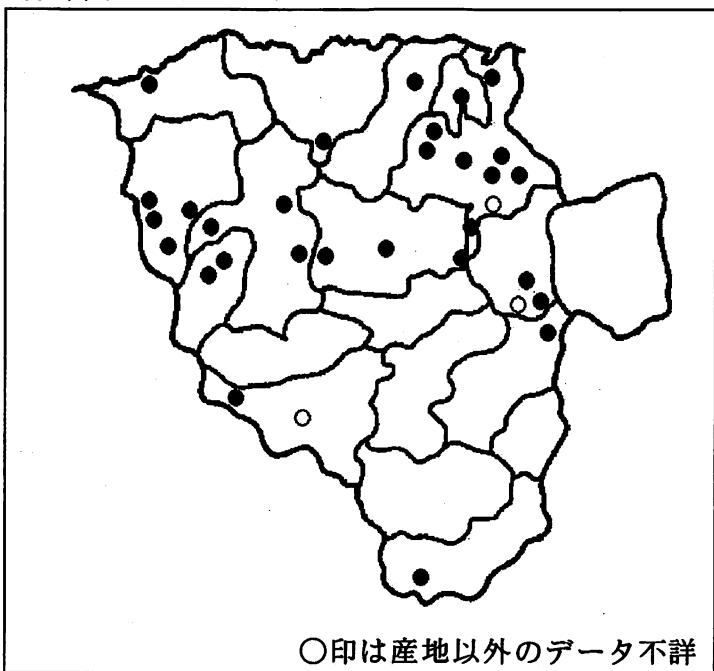
分布図 2. ウラキンシジミ



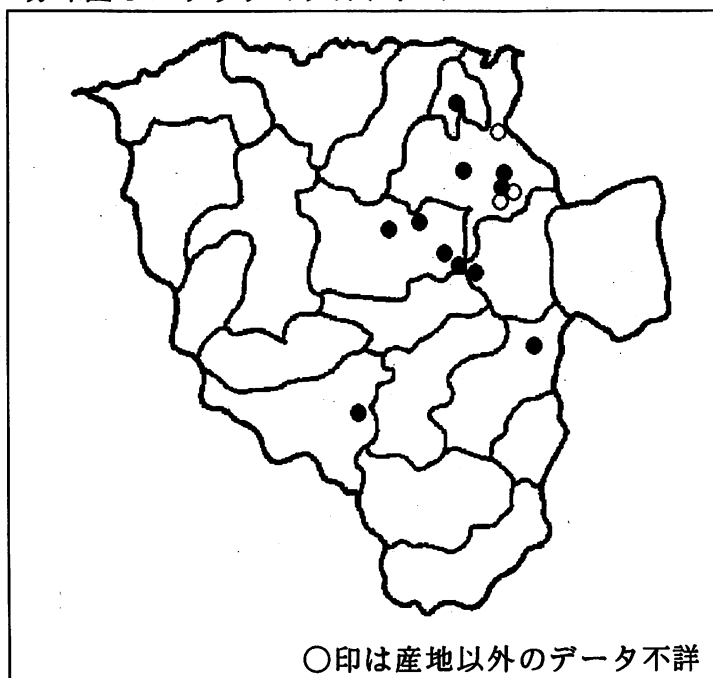
分布図 3. オナガシジミ



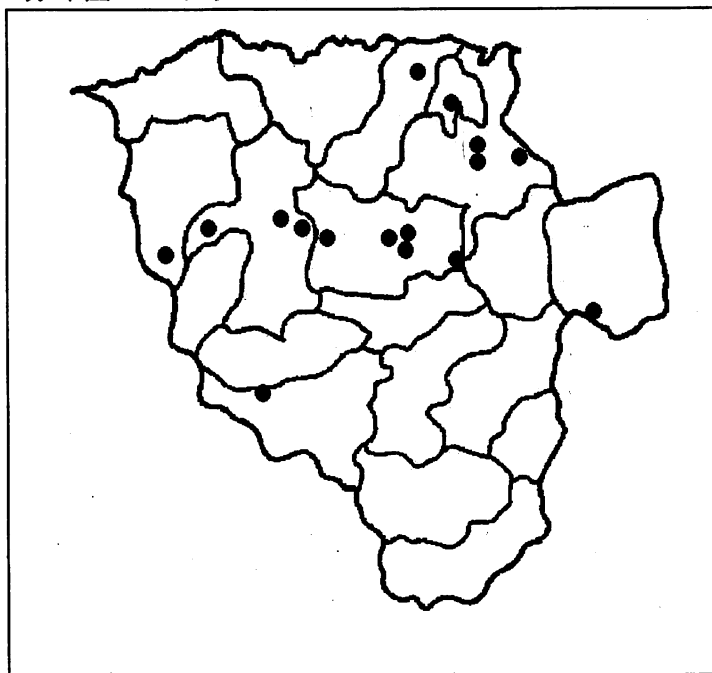
分布図 4. アカシジミ



分布図5. ウラナミアカシジミ



分布図6. ウラミスジシジミ



参考文献

- 1) 木下賢司 (1977) 来日岳の蝶類, IRATSUME 1:21-23.
文献13) 「但馬地域の蝶類目録」の中にデータが重複
- 2) 谷角素彦 (1978) 日高町金山の蝶, IRATSUME 2:11-21.
- 3) 足立義弘 (1978) 豊岡市下鶴井付近の数種のチョウ, IRATSUME 2:22-25.
- 4) 木下賢司 (1979) 床ノ尾山の蝶, IRATSUME 3:20-32.
- 5) 谷角素彦・足立義弘 (1979) 金山・蘇武山系の蝶類, IRATSUME 3:8-18.
- 6) 遠藤知二 (1979) 豊岡市神野山でウラムスジシジミを採集, IRATSUME 3:38.
- 7) 高橋 匡 (1979) 但馬地方昆虫目録 (予報第1報), IRATSUME 3:40-58.
- 8) 但馬むしの会 (1980) 第2回定例採集会・杉ヶ沢高原, IRATSUME 4:57-58.
- 9) 谷角素彦 (1980) オオミドリシジミの産卵行動, IRATSUME 4:72-73.
- 10) 木下賢司 (1980) ヒロオビミドリシジミ日高町上ノ郷で採集される,
IRATSUME 4:71.
- 11) 島田真輔 (1982) 美方町の蝶, IRATSUME 6:25-29.
- 12) 入江照夫 (1984) 梅雨期・杉ヶ沢高原の蝶相, ひろおび 7:48.
- 13) 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣 (1986) 但馬地域の蝶類目録,
IRATSUME 10:55-95.
- 14) 高田忠彦・井出敏晴 (1978) 兵庫県産蝶類調査目録 (1)
シジミチョウ科 (その1), MDK NEWS.
- 15) 黒井和之 (1986) ウラジロガシからウスイロオナガシジミの終齢幼虫を採集,
IRATSUME 10:42.
- 16) 広畑政己 (1987) 但馬の蝶雑記, IRATSUME 11:24-26.
- 17) 黒井和之 (1988) 浜坂町城山の蝶類, IRATSUME 12:11-13.
- 18) 黒井和之 (1990) 浜坂町城山の蝶類, IRATSUME 13:14:44-45.
- 19) 永幡嘉之 (1992) 夏の訪れ, 因幡のむし 27:50-56.
- 20) 川元 裕 (1993) 1992年度採集記録, 因幡のむし 28:16-18.

美方郡西部の ウスバシロチョウの新産地と知見

黒井和之

但馬地域のウスバシロチョウの分布については、広畑・近藤（1989）によって、兵庫県下の分布資料の中でその概要がまとめられている。本地域では119ヵ所の既産地があげられており、中央部を南北に流れる円山川以西では、その生息地は海岸部や一部の地域を除けば、点としてではあるが連続しているようである。しかし、分布域の全容が明らかになるには十分なものではないように思う。

但馬の中でも温泉町・浜坂町は北西部に位置し、扇ノ山を源にした岸田川流域にあり、美方郡の中でも西にあるため、略して美西と呼ばれている。

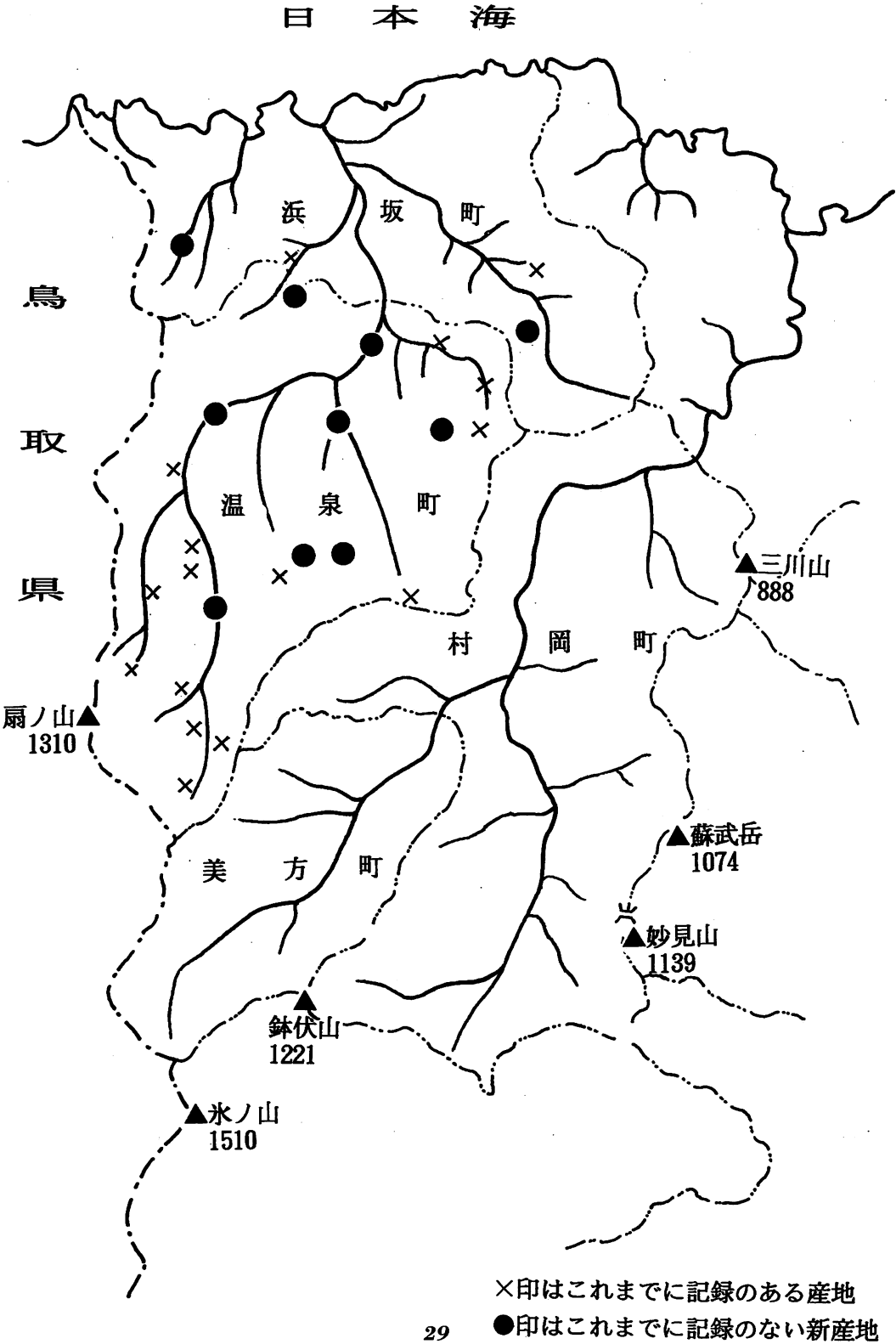
広畑・近藤（1989）では、この美西での既産地は16ヵ所をあげている。私はこれまでの調査で新たに10ヵ所の新産地を記録しているので、データをつけて報告しておきたい。また、その産地において若干の知見を得ているので併せて報告したい。

〈知見〉

新産地である諸寄と既産地の田君谷で、背丈30cmほどにのびた灌木・ススキ・スゲなどの混じる草地内で採集していたとき、突然、本種の姿が消えた。どこに行ったんだろうと周りを見渡すが姿がない。本種の飛翔はタテハチョウ科のように速くないのでおかしいと思い、飛んでいた周辺のブッシュに目をやると、その中から突然本種が現れた。その個体を採集してみると雌であった。その個体は、産卵のために幼虫の食草であるムラサキケマンを探して、ブッシュ内に潜りこんでいたと考えられる。

近年、下草を除去することが稀になり、本種の生態に変化が生じているのではないだろうか。これらの点を整理してみると、もうひとつ気になることがある。温泉町伊角では、数年前の生息地が直線距離にして数百mほど移動しているのを観察している。本種の個体群の移動に関してはまだ充分な観察をしていないが、これまでに得たかぎりでは個体群はある程度密集していて、それらが年によっては条件のよい場所のムラサキケマンを求めて移動を行っているように思われる。

美方郡西部のウスバシロチョウの新産地及び既産地の分布図



しかし、まだそれらのことを実証するには満足な観察結果を得ていないので、今後の課題として残しておきたい。

〈データ〉

1986-V-18	1 ♂	兵庫県温泉町井土
1989-V-3	1 ex. 目撃 (初見)	鐘尾
V-4	1 ex. 目撃 (初見)	井土
V-4	2 exs. 目撃 (初見)	湯
1991-V-19	5 ♂ 2 ♀	兵庫県浜坂町諸寄 (奥諸寄)
V-19	3 ♂	久斗山
V-26	3 ♂	温泉町花口
V-19	3 exs. 目撃	多子
V-19	2 exs. 目撃	丹土
V-15	1 ♂	後山
V-19	3 ♂	後山
V-26	1 ♂	高山

参考文献

広畑政己・近藤伸一 (1989) 兵庫県産蝶類分布資料 (5), ひろおび 8:1-8.

ウスバシロチョウの分布調査 I

永幡嘉之

高校生の頃の私の標本箱の中に、興味を引いてやまないウスバシロチョウがいた。村岡町和佐父のメス。真っ黒なのである。一方、美方町大谷のメスは黄色っぽい。当時豊岡におられた近藤伸一氏から頂いたものだったが、但馬のウスバシロチョウにはこんなものがあるのか、いちど自分で調べてみたい、ずっとそう思っていた。しばらく暮らす場所として、私が鳥取を選んだ理由の60パーセントは美方郡のウスバシロチョウで占められていると言っても過言ではない。

だから、最初の年は特にウスバシロチョウに熱を上げた。

但馬西部の美方郡内に的を絞り、とりあえず現段階での分布の状況を把握しようという目標を立てたが、美方郡といっても広いので、毎年このようにしてデータを蓄積した上で、何年か先を目度に分布についてまとまった報告を出すつもりでいる。

兵庫県では過去の文献上において、採集された地点は分かるが、採集されていない地点と未調査地点とは区別がつかなかった。そこで、本種の分布の拡大が全国的に注目されているなかで、より正確な分布状況を知るために、「調査はしたが発見できなかった産地」も記すことにした。ただ、決して「いない」ではなく、調査時間帯や時期、天候など様々な要因がからんでたまたま見られないことも多いと考えられるので、「発見できない」という表現を使った。すぐに利用できるとは考えていないが、いつか何かの役に立つかもしれない。個体数や細かい活動場所などは、日によって、あるいは午前と午後だけでも大きく違っているので、今回は書くことができなかった。

調査結果を水系別に記す。記録はすべて1991年である。

1. 久斗川流域 18-V

浜坂町正法庵 (1 ♂) 大滝 (2 ♂) 境 (1 ♂ 1 ♀) 池ヶ平 (5 ♂ 1 ♀)
久斗山 (3 ♂)

対田～久斗山の久斗川沿いを見たが、藤尾で目撃したほかは上記以外では発見できなかった。

2. 岸田川流域 10-V

浜坂町用土 (2 ♂) 温泉町金屋口 (5 ♂) 井土 (3 ♂) 八日市 (3 ♂)

他に田君, 後山, 高山, 数久谷, 今岡, 仁連寺を調査したが, まだ時期が早かったようで発見できなかった. 後日, 温泉町湯谷 (19-V), 春来 (19-V) (24-V) で目撃.

3. 矢田川流域

村岡町丸味 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 長板 (1 ♂, 19-V)

美方町神水 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 大谷 (3 ♂, 19-V) 久須部 (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 忠宮 (3 ♂, 19-V) 貫田 (5 ♂ 2 ♀, 19-V) (1 ♀, 24-V)

東垣 (3 ♂ 2 ♀, 19-V) (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 鍛冶屋 (3 ♂ 1 ♀, 24-V)

佐坊 (3 ♂ 1 ♀, 24-V) 秋岡 (3 ♂ 1 ♀, 19-V) 新屋 (3 ♂ 1 ♀, 24-V)

茅野 (1 ♂, 24-V) 平野 (1 ♂ 1 ♀, 24-V) 実山 (1 ♂, 24-V)

野間谷 (3 ♂, 24-V) 広井 (2 ♂, 19-V)

他に, 美方町城山 (19-V) (24-V), 石寺 (24-V) で目撃した.

この年の調査はすべて自転車だった. なかでも5月19日と24日の2度にわたる美方町の調査は思い出深い. 19日は前夜黒井氏宅に泊めていただき, 帰りは長板から雨のなかを浜坂まで走った. 24日は鳥取を5:30の始発で発ち, 調査の後は相岡を越えて帰ったのである. 浜坂駅で, ふと鏡の中に血走った眼とひとまわりやせた自分を発見した. 行動範囲は限られていたし, 採った虫も少ないけれども, 車に頼る今よりもはるかに1日が充実していて, 満足感も比べものにならないほど大きかったように思う.

<特に強く影響を受けた文献を紹介しておく>

高橋真弓 (1989) 小山町および御殿場市におけるウスバシロチョウの調査,

駿河の昆虫 146 : 4189-4193.

ウスバシロチョウの分布調査Ⅱ

永幡嘉之

今回は1992年度の調査に基づいて報告したい。この年は岸田川流域に的を絞って調査したが、特に低地で記録できなかった地点が目立った。例えば久斗川沿いの大滝、藤尾、境などでは前年度複数個体を目撃していたのだが、この年には全く目撃することができなかった。以下に記録を挙げる。

1. 久斗川流域

浜坂町池ヶ平 (10♂, 21-V) 久斗山 (1♀, 21-V) (1♀, 25-V)

本谷 (3♂ 1♀, 25-V)

大滝、藤尾、境、正法庵では発見できなかった。また浜坂町の居組、諸寄でも発見できなかった (以上21-V)。田君では少数を目撃 (17-V)。

2. 岸田川流域

a. 中・下流部と熊谷川

温泉町井土 (3♂, 12-V) (3♂ 1♀, 17-V) 八日市 (3♂, 10-V)

熊谷 (栃谷口) (1♂, 21-V) 仁連寺 (1♂ 1♀, 21-V) 伊角 (1♂, 21-V) (6♂ 4♀, 26-V) 檜尾 (7♂, 21-V) (3♂ 1♀, 26-V)

熊谷川の今岡～熊谷間では少なく、採集個体の他に数頭を見かけたのみ。また湯で目撃 (12-V)。

b. 照来台地

温泉町丹土 (4♂, 11-V) (4♂ 7♀, 24-V)

他に中辻で1頭目撃した (24-V) 以外、塩山、桐岡、切畑などでは発見できなかった (12-V) (24-V)。

c. 上流部

温泉町越坂 (4♂, 22-V) 千谷 (2♂, 12-V) 内山 (2♂, 12-V) 花口

(5♂, 29-V) (9♂, 30-V) 霧ヶ滝 (3♂, 1-VI) (1♂, 2-VI)

(1♀, 9-VI) 肥前畑 (5♂, 2-VI)

青下では発見できなかった (30-V)。前 (18-V)、海上 (1-VI) (2-VI) で目撃している。

以上の他に、矢田川上流の美方町熱田（1♂，30-V）で採集している。岸田川流域だけでもまだまだ調査課題が多い。'93年は浜坂町の低地と、本年全く手のつけられなかった村岡町の山間部を中心に調査していきたい。

生態写真集

中国の蝶と自然

Butterflies and Scenery in China

渡辺康之著 定価 25,000円（送料590円）

A 4判 264ページ（うちカラー128ページ） 上製本、箱入り、1993年4月末発行

- 1章. 海南島—未記録のゼフィルス、オウゴンテングアゲハ、甲虫類など
- 2章. 四川省—クロオオムラサキ、ウンナンシボリアゲハなど
- 3章. チベット—ハニングトンウスバ、シュルテウスバなど
- 4章. 青海・甘肅省—プルゼワルスキーウスバ、コイワヤノミオンなど
- 5章. 新疆ウイグル—アクチウスウスバ、ヒメフタオトラフシジミなど

800部限定出版、ご注文はお早めに下記まで！
一般書店では取り扱いません。

藝芸トンボ

〒543 大阪市天王寺区空堀町8-16
郵便振替 大阪3-103309
☎(06)768-2461・Fax(06)768-2462

T T S 昆虫図書

〒973 いわき市内郷郵便局私書箱11号
郵便振替 東京0-73156
☎(0246)27-2521・Fax(0246)27-4031

八重山採集旅行記

1992年6月9日～17日

福井文嗣

6月9日 大阪から与那国島へ

8時10分、JAL911便、B747ジャンボ機は定刻通り大阪空港を離陸しました。1984年に続き、2回目の八重山採集旅行の始まりです。

今回の同行者は、先輩の木下賢司氏です。彼は去年の会社の永年勤続の沖縄旅行から南の島の魅力に取りつかれ、今回の採集旅行となったわけですが、その意気込みは大変なものでした。石垣空港での待ち時間にさえ、ターミナル前の荒地で早速ネットを取り出し、タテハモドキ、アオタテハモドキ、シルビアシジミを追いかけておられたほどです。また、この採集のために、重たくなるほどの三角紙を用意されたとか。

那覇、石垣と乗り継ぎ、与那国空港に着いたのは14時55分でした。与那国への飛行機は前回と違い、DHCからYS11に変わり、空港ターミナルも大きくきれいに改築されていました。

宿に電話して荷物を取りに来てもらい、空港付近から早速採集を始めることにしました。センダングサで、はりねずみになりながら歩き回っても、タテハモドキ程度しかおらず、精糖工場付近まで来てやっといろいろな蝶に巡り合うことができました。ツマベニチョウは力強く高いところを飛び、オオゴマダラがふわふわ舞い、8年前にはそんなに多くなかったタイワンシロチョウも数を増し、あちこちに飛んでいます。最近土着したといわれるクロテンシロチョウも、弱々しく飛んでいます。そこそこ採集したところで、明日に備え早めに宿に入り、休むことにしました。

6月10日 与那国島で採集

与那国ホンダでバイクを借りました。木下さんはバイクの自信がないとかでレンタサイクルにされましたが、小さな島とはいえ、東西10kmもあり、多少の高低もある島での採集は、いかにバイタリティーにとんだ木下さんでもきついのではと心配です。まずは、二人で昨日の精糖工場前に行ってみました。昨日にも増し

てたくさんの蝶が舞っています。ここでタイワンモンシロチョウ、ベニモンアゲハを採集し、テンダバナ付近で粘ってみるという木下さんと別れ、宇良部岳へ向かいました。

借りたときからバイクの馬力が弱いのは感じていましたが、登りにかかるとときめんにそれが出てきました、だましだまし乗って行くと、とうとう動かなくなってしまい、バイクを捨てて歩いて登ることにしました。道の周りのセンダングサにいろいろな蝶が来ています。リュウキュウアサギマダラに混ざって、これも最近土着したと思われるヒメアサギマダラもいます。ぽつぽつ採集しながら登っていくと、見慣れない蝶が吸蜜しています。初めはリュウキュウムラサキかと思いましたが、翅が細いように見えたので迷マダラではないかと思い、慎重にネットインすると、前翅が紫に光り、後翅に白い幾条もの線がある、見たことのない蝶でした。後で調べたところ、やはり迷マダラで、ピカピカのツマムラサキマダラの♀でした。

宇良部岳の頂上では最近ホリシャルリシジミが採れたという情報があったため、少し粘ってみましたが空振りに終わりました。

その後、アオタテハモドキを採りに東崎に向かい、牧場の中でのんびりとし、今日の採集を終了しました。

6月11日 与那国島で採集後、石垣島へ

馬力不足のバイクを交換し、今日は比川、久部良方面に向かうことにしました。

比川林道でまた迷マダラらしきものを見ましたが、今度はブッシュの中にもぐり込まれて失敗しました。

久部良の西崎で2度目の日本最西端に立ち、満田原林道、テンダバナと採集しながら昼頃に祖納に帰ってきました。

タイワンシロチョウ、ヒメアサギマダラ、クロテンシロチョウなど、目的はほぼ達成したので、戦利品を“ゆうパック”で自宅へ送り、15時10分の便で石垣へ向かうことにしました。ところが本日天候がやや荒れ模様で、地に着いたものしか信用できない二人（二人とも列車の運転士）は、横風にあおられ、態勢を立て直しながら着陸しようとする飛行機に、肝を冷やし、パニック状態。おまけに窓際の席だったので見える滑走路が右へ左へ。おそらく顔面蒼白で頬は引きつっていたに違いありません。無事着陸したときには、二人して胸をなでおろしたもの

です。

6月12日 石垣島から西表島へ、西表島で採集

石垣の宿を後にし、8時の高速艇で西表島へ向かいました。やや高い波を突っ切りながら、竹富島をかすめ、40分で大原港に接岸しました。

宿に荷物を起き、レンタカーを借り仲間川林道に向かいました。サトウキビの畑の中を通り、林道の入り口に車を置きました。林道に入った途端、黄色のじゅうたんが現れました。タイワンキチョウの吸水です。カラスアゲハも多く舞っています。採集しながら奥へと進みましたが、蝶影はあまり濃くありません。しかし、八重山が初めての木下さんは何もかもが初物で、片っ端からネットに納め、三角紙に包むのが忙しそうです。それでもジャノメ類、セセリ類などを採集しながら仲間川を見下ろす展望台の少し先まで行ってみましたが、めぼしいものは採れません。ほしかったリュウキュウウラボシシジミも3頭のみでした。

西表島の宿は大原の南風荘でした。食事の時に、但馬むしの会のメンバー谷角、黒井、前平氏の名前の色紙を見つけ懐かしく思いました。

6月13日 西表島で採集

今日の第一の目的はタイワンキマダラで、一路、浦内の月ヶ浜へ車を走らせました。途中、古見の手前で先行の車が停止し、人だかりがしています。こちらも止めて何かと見ると、蛇がとぐろを巻いています。ハブかと思いましたがどうも違うようです。本土のアオダイショウよりはるかに大きい。聞くところによるとサキシマスジオウというニシキヘビの仲間だそうです。毒がないとわかると、早速木下カメラマンの登場。逃げる蛇を追いかけてサトウキビの畑まで侵入、撮影に夢中でした。

月ヶ浜の海に向かう道路に車を止め、タイワンキマダラをねらいましたが、どうも効率が上がりません。思い切って林の中に入ってみました。本土と違って見なれぬ草が生い茂っていて気持ちがよくありませんが、開けたところに蝶がいて結構収穫がありました。適当なところで道に出てびっくり、そこには車に轢かれたサキシマハブの死体。

そこそこの収穫で白浜に向かいました。前回に比べ学校は大きくなっているし、様子が変わっているようです。二人でテツイロピロードセセリ3頭を採集して、

白浜林道に向かいました。林道では少し入った所でヤエヤマイチモンジがテリトリーをはっているくらいで何もいません。ヤエイチがほしいので少し粘りましたが、なかなか降りてきません。それでも3頭ほど採って次に向かいました。祖納の竹やぶのシロオビヒカゲもやはり少なく、すごすごと撤退。時間もなくなり、大原の宿に帰還しました。

6月14日 西表島から石垣島へ移動、竹富島で採集

もう少し西表島で粘り、カンピラの滝方面に行くという木下さんと別れ、8時50分の高速艇で石垣に帰りました。ここから木下さんとは帰るまで別行動です。私にはまだ次の目標があります。木下さんはすでに十数年前に手に入れておられる、アカボシゴマダラです。私の最終目的地は、奄美大島なのです。

石垣に着き、一旦、宿に荷を置き11時の船で竹富島に渡りました。

竹富島は相変わらず蝶の多い島です。シロオビアゲハ、ジャコウアゲハがぶんぶん飛んでいます。上陸してすぐ、墓地の近くでまた迷マダラを採集しました。今度はマルバネルリマダラの♀です。気をよくしてどんとどんと集落の方へ向かっていきました。ねらっていたカバタテハはあまり採れませんでした。リュウキュウムラサキやウスキシロチョウを採りながら歩いていると、民芸館に出ました。ここにはクチナシの木があり、たくさんの実を付けていました。見ると実には穴が開いており、これがイワカワシジミの食痕と直感し、民芸館の人に断って大きな穴の開いた実だけを持ち帰りました。これにはたいてい蛹が入っていて、帰ってからピカピカの成虫が羽化しました。

6月15日 石垣島で採集後、那覇経由奄美大島へ

今日は午後の便で沖縄へ行かねばなりません。時間が余りないので、近くのパンナ岳方面に行くことにしました。

八重守の塔までタクシーで行き、パンナスカイラインを登りかけましたが、車がどんとどんと登ってくるので嫌気がさし、反対側の万勢林道に転戦することになりました。

林道を少し入ると二手に分かれ、左の道をとるとやがて諸車通行止めのバリケードがあり、車が入って来る心配もなくなり、ゆっくりと採集が楽しめました。ここには西表島であれほど採れなかったヤエヤマイチモンジが乱舞しています。

ナミエシロチョウも舞い、コノハチョウも姿を見せてくれました。

今日の成果に満足し、15時10分、石垣空港を後にし、沖縄那覇へと向かいました。旅行の効率をよくするため、ここから船を使い奄美大島に渡るのです。寝ている間に名瀬港まで連れていってくれます。

那覇には三つの港があるようです。那覇空港から乗ったタクシーに那覇新港と告げたのに、連れていかれたのは那覇港でした。いくら捜しても私の乗る船がありません。やっと間違いに気づき、あわてて那覇新港に急ぎました。

18時、大阪南港行きの関西汽船フェリー“くろしお”は、次の寄港地、奄美大島名瀬港へ向け出港して行きました。大きな船なのに乗客は十数人、船で働いている人数の方が多い状態で、こんなんじゃ儲かるのかなといらぬ心配をするほどです。飛行機運賃の約半額で、時間と友達があればこんな旅もいいものなのでしょう。学生の休みの期間は、案外混雑しているのかもしれませんが。しかし、今は十畳程もある二等船室を一人一人が占領し、テレビも独占です。

船舶電話で、石垣島に泊まっておられる木下さんに連絡をとりました。異常なまでにヤエヤマイチモンジに執念を燃やす木下さんに、今日の成果を報告するために。それにしても、この電話料金の高さはなんだ、105度のテレホンカードが瞬く間になくなりました。

後で聞くとところによると、木下さんは、万勢林道でヤエヤマイチモンジを三桁採ったそうです。

6月16日 奄美大島で採集

5時20分、名瀬港に接岸です。梅雨前線の真っ只中で、空はどんよりと曇り、先ほどまで雨が降っていた模様です。

朝早いのでどこへ行くこともできず、待合室で8時頃まで仮眠しました。

名瀬市内には拝山と、らんかん山の二つの採集地があるそうです。まず拝山に行ってみることにしました。名瀬港から見て、町の向こうに見える山がそのようです。名瀬市内を横切り、登ってみました。きれいに整備された公園です。気温もまだあまり上がらず、蝶の影もありません。1頭だけ、それらしきものを見たけれど、すぐ見えなくなりました。しばらく待っていましたがあきらめて、とりあえず旅館に入ることにしました。

港に近い入船町の宿に荷を置き、裏山のらんかん山に行ってみました。この山

は以前に血液輸送の飛行機が墜落して13名の犠牲者をだした所だそうで、記念碑にはその飛行機の車輪が埋め込んでありました。先ほどの拝山と比べ道も細く、小さな公園です。

いました、アカボシゴマダラのようなようです。高い木の周りをぐるぐると回っています。まるでアサギマダラのような飛び方です。なかなか下に降りてきません。たまに降りてきても焦って失敗の繰り返しです。やっとのことで1♂をネットイン。少し破れていますが、紛れもなく念願のアカボシゴマダラです。

やがて心配した雨が降ってきました。公園の中の東屋で休みながら雨のやむのを待ちます。雨がやむと、どこからともなく飛び出すけれど、なかなか採れません。やっとのことで♂1♀1♀を採集。ネットもびしょ濡れです。雨さえ降らねば成果はあがるのに、うらめしいのは梅雨前線。午後からは雨も切れ目なく、やむなく宿で休息。明日に期待します。

6月17日 奄美大島から大阪へ

梅雨前線は相変わらず停滞。降水確率100%。外を見れば雨はシトシトと切れ目なく降り続いています。迷ったけれど、あきらめて帰ることに決めました。

飛行機の予約を変更し、9時のバスで奄美空港へ。搭乗手続を済ますと、明日はJASがストライキとのこと。一日早めて正解でした。

10時45分、天候不良で20分遅れのJAS772便は、雨に煙る奄美空港を一路大阪空港に向け飛び立ちました。

これで今回の採集旅行は終わりです。あとにはたくさんの残務整理（展翅）が待っています。当分忙しい日が続きそうです。

[今回の採集種と採集地]

【アゲハチョウ科】 5種

- ジャコウアゲハ（与那国，西表，竹富島）
- ベニモンアゲハ（与那国，竹富島）
- シロオビアゲハ（竹富島）
- クロアゲハ（与那国，石垣島）
- カラスアゲハ（与那国島）

【シロチョウ科】 9種

- ウラナミシロチョウ (竹富島)
- ウスキシロチョウ (与那国, 西表, 竹富島)
- キチョウ (与那国島)
- タイワンキチョウ (西表島)
- ナミエシロチョウ (与那国, 西表, 石垣島)
- タイワンシロチョウ (与那国, 竹富島)
- タイワンモンシロチョウ (与那国島)
- クロテンシロチョウ (与那国島)
- ツマベニチョウ (与那国島)

【シジミチョウ科】 7種

- イワカワシジミ (竹富島 ※ 蛹で採集)
- アマミウラナミシジミ (与那国, 西表島)
- ルリウラナミシジミ (与那国島)
- シルビアシジミ (石垣島)
- タイワンクロボシシジミ (与那国, 西表島)
- リュウキュウウラボシシジミ (西表島)
- ヤマトシジミ (与那国島)

【マダラチョウ科】 6種

- スジグロカバマダラ (与那国島)
- オオゴマダラ (与那国, 竹富島)
- リュウキュウアサギマダラ (与那国, 西表島)
- ヒメアサギマダラ (与那国島)
- マルバネルリマダラ (竹富島)
- ツマムラサキマダラ (与那国島)

【タテハチョウ科】 12種

- タイワンキマダラ (西表島)
- カバタテハ (竹富島)

- シロミスジ (与那国島)
- ヤエヤマイチモンジ (西表, 石垣島)
- リュウキュウミスジ (与那国, 西表, 石垣島)
- ルリタテハ (与那国島)
- アオタテハモドキ (与那国, 竹富, 石垣島)
- タテハモドキ (与那国島)
- リュウキュウムラサキ (与那国, 竹富, 石垣島)
- コノハチョウ (西表, 石垣島 ※ 観察)
- イシガケチョウ (与那国, 西表島)
- アカボシゴマダラ (奄美大島)

【ジャノメチョウ科】 3種

- マサキウラナミジャノメ (西表島)
- シロオビヒカゲ (西表島)
- リュウキュウヒメジャノメ (西表島)

【セセリチョウ科】 6種

- コウトウシロシタセセリ (西表, 石垣島)
- タイワンアオバセセリ (与那国, 竹富島)
- オオシロモンセセリ (与那国島)
- ユウレイセセリ (与那国, 石垣島)
- クロセセリ (与那国, 西表島)
- テツイロビロードセセリ (西表島)

但馬におけるトンボの採集記録

(1) サナエトンボ科

上田尚志・山崎喜彦

但馬のトンボ相については、高橋 匡氏の但馬地方昆虫目録(予報2)によって、主に1980年以前の記録が整理された後、まとまった報告がなされていない。今回の報告は上田、山崎の標本を中心にして、1980年以後の未発表の採集記録をまとめたものである。また、足立義弘、永幡嘉之、谷角素彦の各氏からも標本あるいは記録の提供を受けた。

近年、関西トンボ談話会などの調査で、但馬のトンボ相はかなり明らかになりつつあるが、地元のメンバーによる継続的調査が今後望まれるところである。

Anisogomphus maacki ミヤマサナエ

和田山町糸井溪谷(1982-VII-4, 1 ♂, 上田; 1985-VII-21, 1 ♂, 山下智也; 1985-VII-29, 2 ♀, 山下智也; 1985-VII-29, 1 ♀, 垣尾三好; 1986-VI-12, 1 ♂, 山崎; 1986-VII-2, 1 ♂, 山崎; 1986-VII-6, 1 ♀, 山崎; 1987-VII-12, 1 ♀, 山崎; 1987-VII-21, 1 ♂, 山下雄路; 1987-VII-21, 1 ♂ 2 ♀, 山崎; 1987-VII-26, 1 ♀, 上田; 1987-VIII-4, 1 ♂, 上田), 香住町三川山(1983-VI-29, 1 ♂, 足立), 扇ノ山小ヅッコ(1984-VII-30, 1 ♂, 足立), 関宮町福定(1988-VIII-14, 1 ♀, 永幡), 和田山町柳原(1990-VIII-3, 1 ♀, 山崎; 1992-VI-25, 1 ♀, 山崎), 和田山町市御堂(1992-VI-16, 1 幼, 山崎)

Asiagomphus melaenops ヤマサナエ

豊岡市市場(1983-VI-19, 1 ♀ 1 ♂, 足立; 1988-VI-18, 1 ♂, 上田; 1989-VI-3, 1 ♂, 上田; 1991-V-30, 1 ♀, 上田), 関宮町葛畑(1981-VI-4, 1 ♂, 足立), 和田山町柳原(1989-V-20, 1 ♀, 吉井光和), 関宮町関宮(1990-VI-3, 1 ♂, 山崎), 和田山町高生田(1990-VI-8, 1 ♂, 山崎), 香住町守柄(1991-VI-8, 1 ♀, 山崎), 出石町町分(1991-VII-8, 1 ♀, 山崎), 出石町寺(1990-VI-17, 7 幼, 山崎), 竹野町二ツ家(1992-X-31, 2 幼, 山崎), 竹野町二連原(1992-X-31, 1 幼, 山崎), 竹野町阿金谷(1992-X-31, 31 幼, 山崎)

Asiagomphus pryeri キイロサナエ

出石町桐野 (1990-VI-8, 1 ♀, 上田), 養父町伊豆 (1981-VI-7, 1 ♂, 河浪),
和田山町柳原 (1989-V-20, 1 ♀, 吉井光和)

Gomphus postocularis ホンサナエ

豊岡市中郷 (1989-V-5, 1 ♂, 上田), 日高町上郷 (1988-V-21, 1 ♂, 上田;
1990-IV-28, 1 ♂, 上田), 八鹿町浅間 (1983-V-15, 1 ♀, 上田), 和田山町枚
田岡 (1982-V-6, 1 ♀, 下村; 1984-V-28, 1 ♂, 上田), 和田山町糸井溪谷 (
1985-VII-8, 1 ♀, 山崎), 和田山町柳原 (1990-V-10, 1 ♂, 山崎), 和田山町
市御堂 (1992-VI-14, 1 ♂, 北 明浩), 竹野町阿金谷 (1992-X-31, 13幼, 山崎)

Trigomphus itimus tabei タベサナエ

豊岡市中郷 (1989-V-5, 1 ♂, 上田), 日高町上郷 (1989-V-5, 1 ♀, 上田;
1990-IV-28, 2 ♀ 1 ♂, 上田; 1990-V-13, 1 ♀, 上田), 日高町神鍋 (1980-V-22,
3 ♂, 足立; 1989-V-27, 1 ♂, 上田), 八鹿町浅間 (1983-V-15, 2 ♂, 上田;
1988-V-14, 1 ♀ 4 ♂, 上田), 八鹿町伊佐 (1990-V-22, 1 ♂ 1 ♀, 東 輝弥;
1990-VIII-30, 10幼, 山崎; 1992-VI-14, 1 ♂ 1 ♀, 山崎), 養父町広谷 (1982-V-
5, 1 ♂, 上田), 大屋町宮垣 (1990-V-13, 1 ♂, 上田), 和田山町糸井溪谷 (
1989-V-5, 1 ♂, 山崎)

Trigomphus interruptus フタスジサナエ

日高町上郷 (1983-V-22, 1 ♀ 1 ♂, 上田; 1985-V-28, 1 ♀ 1 ♂, 上田; 1988-
V-21, 1 ♀ 3 ♂, 上田; 1988-V-24, 2 ♂, 上田; 1988-VI-18, 1 ♂, 上田; 1989-
IV-29, 1 ♀, 上田; 1989-V-24, 2 ♀ 1 ♂, 上田; 1989-VI-7, 2 ♂, 上田; 1991-
V-18, 1 ♂, 上田), 八鹿町伊佐 (1990-VIII-30, 1 幼, 山崎; 1991-VI-7, 1 ♀, 山
崎)

Trigomphus melampus コサナエ

豊岡市三開山 (1989-VI-4, 3 ♂, 上田), 日高町名色 (1982-V-22, 1 ♂, 谷角),
香住町土生 (1989-VI-25, 1 ♀ 5 ♂, 上田), 温泉町塩山 (1992-V-9, 1 ♀, 永
幡; 1992-V-10, 1 ♀, 永幡; 1992-V-24, 1 ♂, 永幡), 村岡町黒田 (1991-VI-

7, 1 ♂, 山崎)

Trigomphus ogumai オグマサナエ

日高町上郷 (1985-V-28, 1 ♀ 1 ♂, 上田; 1988-V-21, 1 ♂, 上田; 1989-V-5, 2 ♂, 上田; 1990-VIII-30, 10幼, 山崎), 豊岡市中郷 (1990-VIII-30, 3 幼, 山崎), 八鹿町伊佐 (1990-VIII-30, 1 幼, 山崎)

Davidius nanus ダビドサナエ

温泉町花口 (1992-V-22, 1 ♂, 永幡), 温泉町中辻 (1992-V-24, 1 ♀ 4 ♂, 永幡), 温泉町霧滝 (1987-VI-16, 2 ♀, 上田), 美方町小代 (1982-VI-20, 2 ♀ 2 ♂, 谷角), 氷ノ山 (1985-VI-9, 2 ♂, 上田), 八鹿町妙見 (1988-VII-10, 1 ♂, 上田), 八鹿町舞狂 (1982-V-27, 1 ♂ 1 ♀, 谷川), 八鹿町岩崎 (1990-V-26, 1 ♂ 1 ♀, 山崎), 日高町阿瀬溪谷 (1980-IV-28, 1 ♀ 幼, 足立; 1989-V-4, 1 ♀ 1 ♂, 上田), 日高町神鍋 (1985-VI-16, 1 ♀, 上田; 1989-V-27, 1 ♀ 1 ♂, 上田), 日高町名色 (1982-V-22, 2 ♂, 谷角), 和田山町糸井溪谷 (1985-V-28, 1 ♀, 上田; 1985-VII-21, 1 ♂, 山崎; 1986-VI-8, 1 ♂, 山下雄路; 1986-VI-15, 1 ♀, 山下雄路; 1988-VI-26, 1 ♀, 上田; 1986-VII-28, 1 幼, 山崎; 1988-VII-5, 1 ♂, 上田), 和田山町内海 (1991-VIII-25, 36幼, 山崎), 和田山町下戸 (1990-V-13, 1 ♂, 山崎), 和田山町竹田 (1991-VIII-3, 1 幼, 山崎; 1992-VI-22, 1 羽殻, 山崎), 和田山町室尾 (1991-III-25, 2 幼, 山崎), 和田山町寺谷 (1992-VI-17, 2 羽殻, 山崎), 和田山町市御堂 (1992-VI-16, 7 羽殻, 和田山町枚田 (1992-VI-17, 2 羽殻, 山崎), 但東町大河内 (1981-V-23, 1 ♀ 1 ♂, 足立), 竹野町床瀬 (1980-V-23, 2 ♂, 足立), 日高町上郷 (1989-IV-29, 1 ♀, 上田), 養父町高中 (1990-V-13, 2 ♂, 山崎), 養父町藪崎 (1992-VI-20, 1 羽殻, 山崎), 大屋町横行 (1990-VI-9, 1 幼, 山崎), 大屋町筏 (1990-VI-9, 1 幼, 山崎; 1990-VI-10, 1 ♀, 山崎), 城崎町飯谷 (1991-V-26, 1 ♂, 山崎), 朝来町神子畑 (1992-VIII-11, 5 幼, 山崎), 村岡町銚子ヶ谷 (1991-IX-29, 14幼, 山崎), 村岡町兎和野 (1991-V-12, 4 幼, 山崎), 但東町畑 (1991-VIII-25, 15幼, 山崎), 竹野町森本 (1992-X-31, 1 幼, 山崎)

Davidius fujiama クロサナエ

扇ノ山小ヅッコ (1991-VI-28, 1 ♂, 永幡), 温泉町海上 (1984-VII-1, 1 ♂, 足立), 美方町秋岡 (1991-V-19, 1 ♀, 永幡), 村岡町兎和野 (1992-VI-20, 1 ♂, 上田), 村岡町銚子ヶ谷 (1991-IX-29, 14幼, 山崎), 和田山町糸井溪谷 (1985-V-12, 1 ♂, 上田; 1985-VII-20, 1 ♂, 山崎; 1985-VII-21, 1 ♂, 山崎; 1986-V-17, 1 ♀, 高見篤志; 1986-VI-15, 1 ♀, 山下雄路; 1988-VII-5, 1 ♂, 上田), 和田山町内海 (1991-VIII-25, 2 幼, 山崎), 和田山町室尾 (1991-III-25, 1 幼, 山崎), 日高町阿瀬溪谷 (1992-V-10, 1 ♀ 2 ♂, 上田), 但東町畑 (1990-V-6, 1 ♂, 山崎), 養父町高中 (1990-V-13, 1 ♂, 山崎), 朝来町神子畑 (1992-VIII-11, 1 幼, 山崎), 竹野町ニツ家 (1992-X-31, 13幼, 山崎), 竹野町二連原 (1992-X-31, 1 幼, 山崎), 竹野町阿金谷 (1992-X-31, 3 幼, 山崎)

Davidius moiwanus taruii ヒラサナエ

村岡町兎和野 (1989-IV-30, 1 ♂, 上田; 1990-V-3, 5 ♀ 5 ♂, 上田; 1991-V-12, 1 ♀, 永幡; 1992-V-12, 1 羽殻, 山崎; 1991-VI-9, 1 ♀, 山崎), 村岡町銚子ヶ谷 (1992-V-30, 1 ♂, 上田; 1992-V-31, 1 ♂, 山崎; 1992-V-31, 1 幼, 山崎; 1992-VI-13, 2 ♀ 2 ♂, 上田; 1992-VI-20, 1 ♀ 1 ♂, 上田; 1992-X-4, 12幼, 山崎)

Stylogomphus suzukii オジロサナエ

関宮町福定 (1987-VIII-6, 1 ♀, 永幡), 村岡町兎和野 (1991-V-12, 1 羽殻, 山本一幸), 大屋町宮垣 (1990-VI-26, 1 ♀, 上田), 和田山町糸井溪谷 (1981-VII-20, 1 ♀, 上田; 1985-VII-29, 1 ♂, 山崎; 1985-VII-29, 1 ♂, 衣川; 1987-VIII-28, 1 ♂, 山崎; 1987-VIII-29, 1 ♂, 山崎), 和田山町柳原 (1991-VI-6, 1 ♀, 山崎), 和田山町枚田 (1992-VI-17, 6 羽殻, 山崎), 和田山町内海 (1991-VIII-20, 3 幼, 山崎), 和田山町加都 (1992-VI-17, 55羽殻, 山崎), 但東町畑 (1991-VIII-25, 5 幼, 山崎), 出石町寺 (1991-VIII-20, 1 幼, 山崎), 竹野町阿金谷 (1992-X-31, 1 幼, 山崎), 養父町養父市場 (1992-VI-20, 4 羽殻, 山崎)

Lanthus fujiacus ヒメクロサナエ

温泉町菅原 (1991-VIII-11, 1 幼, 山崎), 温泉町上山高原 (1991-VI-16, 1 ♀ 1 ♂,

永幡), 温泉町霧滝 (1990-V-22, 1 ♀ 1 ♂, 上田), 扇ノ山小ヅッコ (1984-VI-30, 1 ♀, 足立), 村岡町兎和野 (1989-IV-30, 1 ♂, 上田; 1990-V-3, 1 ♂, 上田), 村岡町銚子ヶ谷 (1991-IX-29, 2 幼, 山崎), 村岡町祖岡 (1982-VI-5, 谷角), 日高町阿瀬溪谷 (1980-V-23, 1 ♂, 足立; 1991-IV-29, 1 ♂, 山崎; 1992-V-10, 2 ♀ 1 ♂, 上田), 日高町神鍋万場 (1981-V-4, 1 ♂, 足立), 和田山町糸井溪谷 (1986-VI-8, 1 ♂, 山下雄路; 1989-V-5, 1 ♂, 山崎; 1990-IV-25, 1 ♀, 山崎; 1992-III-31, 8 幼, 山崎; 1992-IV-7, 3 幼, 山崎), 和田山町市場 (1990-IV-26, 1 ♀, 山崎), 和田山町篠岡 (1990-V-2, 1 ♂, 山崎), 和田山町室尾 (1991-III-26, 6 幼, 山崎; 1992-VII-4, 3 幼, 山崎; 1992-VII-10, 2 幼, 山崎), 和田山町内海 (1991-VIII-20, 2 幼, 山崎), 養父町高中 (1990-V-13, 1 ♂, 山崎), 大屋町横行 (1990-VI-9, 1 幼, 山崎), 香住町加鹿野 (1991-VII-28, 1 幼, 山崎), 竹野町森本 (1992-X-31, 1 幼, 山崎)

Sinogomphus flavolimbatus ヒメサナエ

扇ノ山 (1988-VIII-1, 2 ♂, 上田), 美方町小代 (1981-VII-18, 1 ♂, 足立; 1981-VII-19, 1 ♂, 足立), 八鹿町日畑 (1982-VIII-11, 1 ♂, 上田; 1987-VIII-2, 1 ♂, 上田), 氷ノ山 (1982-VIII-6, 1 ♂, 上田), 和田山町糸井溪谷 (1981-VII-20, 1 ♀, 上田), 関宮町大久保 (1991-VIII-13, 2 ♂, 山崎)

Nihogomphus viridis アオサナエ

温泉町湯 (1987-VII-25, 1 ♀, 永幡), 和田山町糸井溪谷 (1985-VII-8, 1 ♀, 山崎), 和田山町柳原 (1986-V-31, 1 ♂, 山崎), 和田山町市御堂 (1992-IV-29, 2 幼, 北 明浩; 1992-VI-14, 1 ♂, 北 明浩; 1992-VI-16, 1 ♂, 福富啓道; 1992-VI-16, 1 ♂, 北 明浩; 1992-VII-3, 2 ♂, 山崎), 和田山町久留引 (1992-VI-17, 1 ♂, 北 明浩), 和田山町竹田 (1992-VII-3, 2 ♂, 山崎)

Onychogomphus viridicostus オナガサナエ

温泉町湯 (1987-VII-26, 2 ♂, 永幡), 蘇武岳 (1984-VII-31, 1 ♂, 足立), 和田山町枚田岡 (1984-VIII-3, 1 ♀, 上田), 和田山町玉置 (1990-VIII-1, 4 幼, 山崎), 和田山町柳原 (1985-VIII-10, 17 幼, 山崎; 1986-IX-12, 1 ♀, 山崎; 1991-VIII-23, 1 ♀, 山崎), 和田山町東谷 (1990-VIII-1, 1 ♀, 山崎), 和田山町寺内 (1991-VII-

13, 1 ♀, 高芝伸博), 和田山町林垣 (1991-VIII-11, 1 ♀, 福富啓道), 和田山町枚田 (1991-IX-5, 1 ♀, 北 明浩; 1991-IX-6, 1 ♂, 北 明浩; 1991-IX-9, 1 ♀, 北 明浩; 1991-IX-15, 1 ♀, 北 明浩; 1992-VI-16, 6 羽殻, 山崎; 1992-VI-17, 43 羽殻, 山崎; 1992-VI-19, 2 羽殻, 山崎), 和田山町立ノ原 (1992-VI-17, 1 ♀, 北 明浩; 1992-VI-17, 13 羽殻, 山崎), 和田山町宮田 (1990-VII-28, 2 幼, 山崎), 和田山町高田 (1990-VII-27, 2 幼, 山崎), 和田山町竹田 (1990-VII-28, 1 幼, 山崎; 1992-VI-22, 8 羽殻, 山崎; 1992-VIII-1, 7 幼, 山崎), 和田山町竹ノ内 (1985-IV-30, 2 幼, 山崎), 和田山町玉置 (1990-VII-28, 7 幼, 山崎), 和田山町寺谷 (1990-VIII-9, 1 幼, 山崎; 1992-VI-16, 17 羽殻, 山崎), 和田山町加都 (1990-VIII-18, 6 幼, 山崎; 1992-VI-17, 9 羽殻, 山崎), 和田山町市御堂 (1992-VI-16, 8 羽殻, 山崎; 1992-VI-18, 1 羽殻, 山崎), 和田山町久留引 (1992-VI-17, 4 羽殻, 山崎), 養父町養父市場 (1992-VI-16, 1 ♂, 雑賀 学; 1992-VI-20, 53 羽殻, 山崎), 養父町上藪崎 (1992-VI-20, 139 羽殻, 山崎), 大屋町宮垣 (1990-VI-9, 2 幼, 山崎; 1990-VI-10, 2 幼, 山崎), 竹野町森本 (1992-X-31, 10 幼, 山崎)

Sieboldius albardae コオニヤンマ

温泉町湯 (1987-VII-25, 2 ♂, 永幡), 大屋町宮垣 (1990-VI-26, 1 ♂, 上田; 1990-VII-28, 2 ♂, 上田), 八鹿町石原 (1988-VIII-9, 1 ♂, 上田), 日高町上郷 (1990-VI-12, 1 ♂, 上田), 和田山町柳原 (1984-VI-8, 2 幼, 山崎; 1986-VI-8, 1 ♂, 山下雄路; 1988-VII-22, 1 ♂, 山崎; 1990-V-30, 2 幼, 山崎; 1990-VI-4, 1 ♂, 山崎; 1990-VI-4, 2 羽殻, 山崎; 1990-VI-5, 2 ♂, 山崎; 1990-VI-5, 1 羽殻, 山崎; 1990-VI-7, 3 ♂, 山崎; 1990-VI-7, 1 羽殻, 山崎; 1990-VI-8, 1 ♂, 山崎; 1991-VI-25, 1 ♀, 上山忠行; 1991-VIII-18, 2 幼, 山崎; 1991-IX-16, 1 ♀, 北 明浩; 1992-VI-22, 1 ♀, 芝垣良樹; 1992-VI-22, 1 ♂, 和田武志; 1992-VIII-10, 1 ♀, 板倉伸久), 和田山町枚田 (1991-VI-24, 1 ♂, 北 明浩; 1992-VI-16, 1 幼, 山崎; 1992-VI-17, 4 羽殻, 山崎), 和田山町岡田 (1991-VII-31, 1 ♂, 藤本幸生), 和田山町寺谷 (1992-VI-17, 1 ♀, 北 明浩; 1992-VI-17, 1 ♀, 山崎; 1992-VI-17, 6 羽殻, 山崎), 和田山町立ノ原 (1992-VI-17, 1 ♀, 中村正和), 和田山町竹田 (1992-VI-20, 2 羽殻, 山崎; 1992-VI-22, 1 ♂, 山崎), 和田山町高瀬 (1992-VII-2, 1 ♂, 山崎), 和田山町市御堂 (1992-IV-29, 2 幼, 山崎;

1992-VI-16, 5羽殻, 山崎; 1992-VI-17, 1羽殻, 山崎), 和田山町内海 (1991-VIII-28, 3幼, 山崎), 和田山町加都 (1992-VI-16, 1幼, 山崎; 1992-VI-17, 2羽殻, 山崎), 養父町大藪 (1990-VIII-6, 1♂, 山崎), 養父町養父市場 (1992-VI-20, 7羽殻, 山崎), 関宮町相地 (1992-VIII-12, 1♂, 山崎), 出石町水上 (1992-VIII-26, 1♂, 山崎), 大屋町筏 (1990-VI-9, 1幼, 山崎), 竹野町阿金谷 (1992-X-31, 12幼, 山崎)

Ictinogomphus clavatus ウチワヤンマ

日高町上郷 (1982-VIII-26, 1♂, 上田; 1985-VIII-25, 1♂, 上田; 1988-VIII-22, 1♀, 上田), 豊岡市中郷 (1983-VI-18, 1♂, 足立), 八鹿町伊佐 (1990-VII-20, 3♂, 山崎; 1991-VIII-6, 2♂, 山崎), 豊岡市小島 (1992-VII-15, 1♀, 山崎; 1992-VII-21, 1♀, 山崎), 城崎町桃島 (1992-VIII-17, 1♀, 山崎)

オオエゾトンボを但馬で採集

上田尚志

オオエゾトンボ *Somatochlora viridiaenes atrovirens* Selys は, 兵庫県南部や京都府, 鳥取県など但馬周辺の地域では記録があるので但馬にも分布していると考えられる種であるが, これまで但馬では記録がなかったので報告しておく.

<データ>

1992-VII-7	豊岡市気比	1♂	
1992-VIII-22	日高町上郷	1♂	
1992-VIII-23	村岡町兎和野	1♂	永幡嘉之採集

銚子ヶ谷湿原のヒラサナエ

上田尚志

美方郡村岡町の蘇武岳の銚子ヶ谷湿原で、ヒラサナエ *Davidius moiwanus tarui* Asahina et Inoue の棲息を確認したので報告しておく。この湿原は1991年に林道予定コースで発見されたカキツバタ自生地で、当時すでに木下賢司氏より「サナエトンボがたくさんいた」との情報を得ていた。筆者は、高原の湿原であることからヒラサナエがいる可能性があると考え、調査をした。

1992年5月30日、湿地中のオタカラコウの葉上で1個体の成虫と羽化殻1個を確認したが、それ以上は確認できず、時期がやや早いと思われた。

二週間後の6月13日には、オタカラコウの葉上に静止する多数の成虫を確認した。小昆虫をオタカラコウの葉上で摂食している個体もみられた。飛翔することは少なく、飛び立っても、すぐに付近の草に静止した。湿地内の浅い水路に沿って、羽化殻も多数確認できた。オタカラコウの葉上にある羽化殻もあったが、多くは植物の低い位置でみられた。6月20日の調査では、オタカラコウの葉上で2個体の成虫を確認した。

村岡町兎和野高原では、5月の連休の時期に多数の個体の羽化を観察しているので、但馬におけるヒラサナエの羽化時期は、地形や積雪量などによりかなりずれるのではないかと考えられる。

〈データ〉

蘇武岳銚子ヶ谷湿原（美方郡村岡町）

1992-V-30	1 ♂	
1992-VI-13	2 ♂ ♂, 2 ♀ ♀	目撃（多数）
1992-VI-20	1 ♂, 1 ♀	

但馬のカミキリムシ ' 92

永幡嘉之

1992年に但馬で採集した162種のカミキリムシのデータを報告する。採集年度はすべて1992年なので省略した。断りのない限り、採集者は筆者である。和名、学名、配列は『日本産カミキリムシ検索図説』に従った。

<採集記録>

1. *Distenia gracilis* ホソカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) 関宮町出合 (1 ex., 24-VII) 灯火
2. *Eurypoda*(*Neoprion*) *batesi* ベーツヒラタカミキリ
浜坂町栃谷 (1 ex., 5-VIII) (2 exs., 14-VIII) (2 exs., 20-VIII) 夜間, ス
ダジイ大木の樹幹・洞内を歩行
3. *Megopis*(*Aegosoma*) *sinica sinica* ウスバカミキリ
温泉町湯 (1 ex., 21-VII) (1 ex., 24-VII) 関宮町出合 (2 exs., 20-VIII) 浜坂
町田井 (2 exs., 5-VIII, 永幡・細原孝昭) 灯火. 夜間や夕方土場 (ブナ
大木), サワグルミ, スダジイ樹幹を歩行
4. *Prionus insularis* ノコギリカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 24-VIII) (1 ex., 26-VIII) 灯火
5. *P. sejunctus* ニセノコギリカミキリ
温泉町丹土 (1 ex., 29-VIII) 池の中水死体
6. *Spondylis buprestoides* クロカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 26-VII) 温泉町海上 (1 ex., 12-VII) 湯 (1 ex., 21-VII, 川
元裕) 扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 25-VII) (2 exs., 7-VIII) 村岡町兎和野
(1 ex., 19-VII) 灯火. 土場. アカマツ杭
7. *Arhopalus coreanus* サビカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 26-VII) 村岡町祖岡 (3 exs., 6-IX) (1 ex., 13-IX).
灯火 アカマツ樹皮下 (昼間)・樹幹を歩行 (夜間)
8. *Cephalallus unicolor* ツシマムナクボカミキリ

温泉町扇ノ山小ヅッコ (26exs., 24-VII) (1 ex., 7-VIII) 肥前畑 (1 ex., 22-VII) 村岡町兎和野 (7 exs., 1-VII) (1 ex., 19-VII) 関宮町出合 (1 ex., 20-VII) 灯火. アカマツ杭. 土場 (アカマツ) 薄暮時から姿を見せ, 夜間活発に活動

9. *Xenophyrama purpureum* ムナコブハナカミキリ
村岡町大笹 (鉢北) (1 ex., 30-VI) サワグルミ下枝葉上
10. *Stenocorus coeruleipennis* フタコブルリハナカミキリ
美方町小代溪谷 (1 ex., 30-V) 草上
11. *Toxotinus reini* モモグロハナカミキリ
温泉町扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 14-IV) 草上
12. *Gaurotes (Paragaurotes) doris* カラカネハナカミキリ
温泉町扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 31-V) 扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) 霧ヶ滝
(1 ex., 18-VI) 海上林道 (1 ex., 1-VI) ミズキ・トチノキ・ゴトウツ
ル・ウツギ花, 灯火
13. *G. (Carilia) artipennis* クビアカハナカミキリ
村岡町兎和野 (1 ex., 28-V) アカマツ伐木
14. *Lemula decipiens* キバネニセハムシハナカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 2-V) (3 exs., 3-V) (1 ex., 27-V) (1 ex., 29-V)
(3 exs., 30-V) (1 ex., 8-V) 花口 (1 ex., 2-V) 扇ノ山畑ヶ平
(1 ex., 31-V) 美方町熱田 (1 ex., 30-V) カエデ類・ミズキ・サワフ
タギ花
15. *L. rufithorax* ピックニセハムシハナカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 2-V) (4 exs., 3-V) (2 exs., 29-V) (1 ex.,
30-V) (1 ex., 31-V) (1 ex., 1-VI) 花口 (1 ex., 2-V) カエデ
類・サワフタギ花
16. *L. nishimurai* アカイロニセハムシハナカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 4-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (2 exs., 31-V) (4 exs., 14-VI)
美方町熱田 (2 exs., 30-V) ミズキ・サワフタギ花
17. *Dinoptera minuta* ヒナルリハナカミキリ
温泉町花口 (5 exs., 2-V) (2 exs., 3-V) 霧ヶ滝 (1 ex., 2-V)
(5 exs., 3-V) (1 ex., 29-V) (1 ex., 30-V) (2 exs., 31-V)

(1 ex., 1-VI) (1 ex., 6-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (8 exs., 31-V) 扇ノ山大ツ
ッコ (1 ex., 6-VI) 美方町熱田 (2 exs., 30-V) カエデ類・サワフタギ・
ミズキ・ヤブデマリ花

18. *Pidonia*(*Pidonia*) *matsushitai* マツシタヒメハナカミキリ

温泉町扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 14-VI)

19. *P.*(*P.*) *himehana* フトエリマキヒメハナカミキリ

温泉町扇ノ山畑ヶ平 (2 exs., 31-V) (1 ex., 14-VI)

20. *P.*(*P.*) *signifera* ナガバヒメハナカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (7 exs., 18-V) (4 exs., 27-V) (5 exs., 28-V) (6 exs.,
29-V) (6 exs., 30-V) (1 ex., 31-V) (1 ex., 4-VI) (1 ex., 6-VI)
(3 exs., 8-VI) (1 ex., 12-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (7 exs., 31-V) (6 exs.,
14-VI) 扇ノ山小ツッコ (1 ex., 14-VI) (2 exs., 3-VII) 海上林道 (1 ex.,
1-VI) 美方町小代溪谷 (19 exs., 30-V)

21. *P.*(*P.*) *discoidalis* キベリクロヒメハナカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 18-V) (4 exs., 27-V) (4 exs., 28-V) (2 exs.,
29-V) (5 exs., 30-V) (1 ex., 2-VI) (1 ex., 4-VI) (2 exs., 6-VI)
(1 ex., 7-VI) (3 exs., 8-VI) (1 ex., 12-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (2 exs.,
31-V) (4 exs., 14-VI) 扇ノ山小ツッコ (1 ex., 14-VI) 海上林道 (1 ex.,
1-VI) 美方町小代溪谷 (2 exs., 30-V)

22. *P.*(*P.*) *grallatrix* オオヒメハナカミキリ

温泉町扇ノ山小ツッコ (8 exs., 26-VII) (4 exs., 27-VII)

23. *P.*(*Mumon*) *aegrota aegrota* チャイロヒメハナカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 17-V) (1 ex., 18-V) (1 ex., 27-V) (6 exs., 29-
V) (9 exs., 30-V) (2 exs., 31-V) (1 ex., 1-VI) (4 exs., 4-VI)
(1 ex., 6-VI) (1 ex., 7-VI) (15 exs., 8-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (3 exs.,
14-V) 扇ノ山小ツッコ (1 ex., 26-VII) 美方町小代溪谷 (4 exs., 30-V)

24. *P.*(*Omphalodera*) *puziloi* フタオビヒメハナカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (4 exs., 17-V) (2 exs., 27-V) (4 exs., 29-V) (3 exs.,
30-V) (1 ex., 31-V) (1 ex., 8-VI) 越坂 (2 exs., 18-V) 扇ノ山小ツッ
コ (1 ex., 14-VI) (1 ex., 3-VII) 扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 31-V) 美方町小代
溪谷 (3 exs., 30-V) 関宮町氷ノ山大平頭 (1 ex., 12-VII)

25. *P. (Cryptopidonia) miwai* ミワヒメハナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (3 exs., 17-V) (4 exs., 27-V) (2 exs., 28-V) (5 exs., 29-V) (8 exs., 30-V) (6 exs., 2-VI) (9 exs., 4-VI) (6 exs., 6-VI) (10 exs., 8-VI) (1 ex., 12-VI) 中辻 (1 ex., 24-V) 扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 14-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (4 exs., 31-V) (4 exs., 14-VI) 海上林道 (1 ex., 1-VI) 美方町小代溪谷 (8 exs., 30-V) 関宮町氷ノ山大平頭 (1 ex., 12-VII) (1 ex., 19-VII)
26. *P. (C.) amentata amentata* セスジヒメハナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 3-V) (4 exs., 18-V) (11 exs., 27-V) (7 exs., 29-V) (10 exs., 30-V) (2 exs., 31-V) (1 ex., 2-VI) (2 exs., 4-VI) (3 exs., 8-VI) 扇ノ山小ヅッコ (3 exs., 6-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (29 exs., 31-V) 海上林道 (1 ex., 1-VI) 美方町小代溪谷 (15 exs., 30-V) 村岡町粗岡 (1 ex., 15-VI)
27. *P. (C.) dealbata* シラユキヒメハナカミキリ
 温泉町扇ノ山畑ヶ平 (2 exs., 14-VI) 美方町小代溪谷 (1 ex., 30-V)
28. *P. (C.) simillima* ニセヨコモヒメハナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (2 exs., 4-VI) (4 exs., 7-VI) (1 ex., 8-VI) 扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 14-VI) 美方町小代溪谷 (2 exs., 30-V)
- Pidonia* については訪花植物は細かく記録できていないので、一括して記しておく。花をすくった場所とその植物名である。
- [霧ヶ滝] サワフタギ, タニウツギ, カエデ類, コデマリ, ヤブデマリ, シャク
 [小ヅッコ] ミズキ, サワフタギ, ミヤマシキミ, ナナカマド, ゴトウツル [畑ヶ平] トチノキ, ミズキ, タニウツギ, ヤブデマリ, ゴトウツル [海上林道] トチノキ, タニウツギ [小代溪谷・熱田] ミズキ, トチノキ, タニウツギ, ヤブデマリ [越坂・中辻] ヤブデマリ [粗岡] ガマズミ [氷ノ山大平頭] ミヤマイボタ
29. *Alosterna chalybeella* チビハナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 29-V) (1 ex., 30-V) (1 ex., 1-VI) (1 ex., 7-VI) 美方町熱田 (1 ex., 30-V) サワフタギ・ミズキ花
30. *Pseudallosterna misella* チャボハナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 18-VI) クマノミズキ花
31. *Anoplocleromorpha excavata* ミヤマクロハナカミキリ

- 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 22-VII) 村岡町村岡 (4 exs., 13-VI) ノリウツギ・
ウツギ・ソヨゴ花
32. *Pyrrhona laeticolor* ヘリウスハナカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (2 exs., 29-V) (1 ex., 2-VI) (1 ex., 8-VI) サワフ
タギ花・クワ葉裏に静止
33. *Corennys sericata* キヌツヤハナカミキリ
関宮町氷ノ山北尾根 (1 ex., 31-VII) ブナ立枯
34. *Pachytodes cometes* マルガタハナカミキリ
村岡町兎和野 (1 ex., 19-VII) ノリウツギ花
35. *Anastrangalia scotodes* ツヤケシハナカミキリ
浜坂町城山 (6 exs., 17-V) (1 ex., 6-VI) 温泉町千谷 (10 exs., 1-VI)
(2 exs., 2-VI) 霧ヶ滝 (1 ex., 6-VI) 村岡町兎和野 (1 ex., 28-V)
(6 exs., 1-VI) 相岡 (2 exs., 15-VI) (1 ex., 16-VI) 関宮町鉢伏山小代越
(2 exs., 28-VI) タンゴイワガサ・ガマズミ・サワフタギ花, アカマツ
伐木
36. *Corymbia succedanea* アカハナカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (5 exs., 7-VIII) 村岡町兎和野 (1 ex., 19-VII)
(2 exs., 29-VII) (2 exs., 30-VII) 相岡 (1 ex., 21-VIII) アカマツ伐木,
杭, シシウド・ノリウツギ花
37. *Paranaspia anaspoides* ベニバハナカミキリ
関宮町氷ノ山北尾根 (9 exs., 31-VII) ブナ洞内, 付近の葉裏
38. *Leptura dimorpha* ムネアカクロハナカミキリ
温泉町井土 (2 exs., 24-V) 丹土 (2 exs., 24-V) 扇ノ山上山 (1 ex., 27-VI)
海上林道 (1 ex., 27-VI) 霧ヶ滝 (2 exs., 29-V) (6 exs., 1-VI) (1 ex.,
2-VI) (1 ex., 6-VI) 村岡町兎和野 (1 ex., 1-VI) 関宮町奈良尾 (1 ex.,
8-VII) 福定 (2 exs., 28-VI) 鉢伏山小代越 (2 exs., 28-VI) ウツギ・サ
ワフタギ・タニウツギ花, 飛翔中
39. *L. modicenotata* ツマグロハナカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 31-V) (1 ex., 6-VI) (1 ex., 8-VI) 温泉町千谷
(1 ex., 1-VI) ガマズミ花, 夕刻に飛翔中・葉裏に静止
40. *L. ochraceofasciata ochraceofasciata* ヨツスジハナカミキリ

- 温泉町湯谷 (1 ex., 19-VII) (1 ex., 20-VII) 霧ヶ滝 (1 ex., 18-VII) (1 ex., 22-VII) 肥前畑 (1 ex., 22-VII) 温泉町扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 26-VII)
 (4 exs., 7-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) (2 exs., 15-VIII) 神場
 (1 ex., 4-VII) 村岡町兎和野 (2 exs., 19-VII) (1 ex., 15-VIII) リョウ
 ブ・ノリウツギ・クマノミズキ・ゴトウヅル・シシウド・ガクアジサイ花,
 各種伐木, 室内
41. *L. latipennis* ハネビロハナカミキリ
 温泉町海上 (1 ex., 2-VI) (1 ex., 4-VI) (1 ex., 6-VI) 村岡町兎和野
 (2 exs., 1-VI) 関宮町福定 (1 ex., 8-VII) 鉢伏山小代越 (1 ex., 28-VI)
 サワフタギ花, 土場, 伐木, 飛翔中
42. *Pedostrangalia femoralis* カタキハナカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 6-VI) 霧ヶ滝 (2 exs., 6-VI) サワフタ
 ギ・ミネカエデ花
43. *Megaleptura regalis* オオヨツスジハナカミキリ
 温泉町越坂 (1 ex., 9-VII) 村岡町兎和野 (3 exs., 29-VII) (2 exs., 30-VII)
 (1 ex., 15-VIII) 関宮町出合 (1 ex., 23-VIII) 大屋町横行 (1 ex., 2-VII) 養父
 町奥米地 (1 ex., 17-VIII) リョウブ花, 土場 (アカマツ), アカマツ・コ
 ナラ伐木
44. *Japanostrangalia dentatipennis* ヒゲジロハナカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (3 exs., 25-VII) (9 exs., 26-VII) (2 exs., 27-VII)
 (1 ex., 7-VIII) 灯火, ゴトウヅル・ガクアジサイ花
45. *Strangalomorpha tenuis aenescens* アオバホソハナカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 6-VI) 霧ヶ滝 (1 ex., 27-VI) (2 exs., 2-
 VI) (6 exs., 4-VI) (3 exs., 6-VI) (1 ex., 7-VI) (2 exs., 8-VI)
 美方町小代溪谷 (1 ex., 30-V) 関宮町鉢伏山小代越 (2 exs., 28-VI)
 サワフタギ・ヤブデマリ・ナナカマド花
46. *Parastrangalis shikokensis* タテジマハナカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (8 exs., 26-VII) (2 exs., 27-VII) 霧ヶ滝 (1 ex., 18-
 VII) 越坂 (1 ex., 13-VI) (1 ex., 2-VII) 村岡町村岡 (1 ex., 15-VII)
 クリ・クマノミズキ・ゴトウヅル花
47. *P. nymphula* ニンフハナカミキリ

- 温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 20-VII) (2 exs., 26-VII) 越坂 (1 ex., 13-VI)
 (1 ex., 14-VI) 霧ヶ滝 (2 exs., 29-V) (1 ex., 2-VI) (1 ex., 4-VI)
 (1 ex., 6-VI) 村岡町村岡 (1 ex., 13-VI) 関宮町福定 (2 exs., 28-VI)
 サワフタギ・クリ・ゴトウヅル・ウツギ花
48. *Leptostrangalia hosohana* ホソハナカミキリ
 村岡町村岡 (1 ex., 27-VI) ゴトウヅル花
49. *Necydalis (Necydalisca) solida* オオホソコバナカミキリ
 温泉町扇ノ山大ヅッコ (1 ex., 7-VIII) ブナ立枯れ
50. *Massicus raddei* ミヤマカミキリ
 温泉町湯 (1 ex., 21-VII) (1 ex., 7-VII) 千谷 (1 ex., 22-VII) 灯火
51. *Xystrocera globosa* アオスジカミキリ
 浜坂町居組 (1 ex., 15-VI) (1 ex., 22-VI) 温泉町湯 (1 ex., 24-VII) 関宮町
 出合 (3 exs., 6-VII) (3 exs., 12-VII) (4 exs., 24-VII) ネムノキ生木
 枯死部・伐木, 土場 (ネムノキ), 灯火. 夜間に活動
52. *Leptoxenus ibidiiformis* ベーツヤサカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 11-V) タンゴイワガサ花
53. *Allotraeus (Allotraeus) sphaerioninus* トビイロカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 22-VI) 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 6-VI) 越坂 (1 ex., 17-VI)
 扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 26-VII) 村岡町村岡 (1 ex., 13-VI) クマノミズ
 キ・クリ・サワフタギ・ゴトウヅル花
54. *Stenodryas clavigera* アメイロカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 19-VI) (1 ex., 29-VI) クマノミズキ花
55. *Stenhomalus cleroides* カッコウメダカカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 29-VI) タブノキ生木, 叩き網
56. *S. taiwanus* タイワンメダカカミキリ
 関宮町出合 (8 exs., 6-VII) (1 ex., 24-VII) 土場 (カラスザンショウ),
 飛翔中 (いずれも夜間), 灯火
57. *S. lighti* トワダムモンメダカカミキリ
 浜坂町清富 (2 exs., 19-VII) キブシ枯れ枝材中 (新成虫)
58. *Glarhyra (Glaphyra) nitida* ホソツヤヒゲナガコバナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 3-V) (1 ex., 29-V) (4 exs., 1-VI) カエデ

類・サワフタギ花

59. *G. (G.) kojimai* コジマヒゲナガコバナカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 29-V) (1 ex., 1-VI) (2 exs., 2-VI) 美方町熱田
 (1 ex., 30-V) サワフタギ・ミズキ花
60. *Dere thoracica* ホタルカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 17-V) (1 ex., 9-VI) 温泉町越坂 (1 ex., 13-VI) 千谷
 (1 ex., 1-VI) 春來 (1 ex., 11-VII) 霧ヶ滝 (1 ex., 3-V) (1 ex., 29-V)
 (1 ex., 4-VI) (1 ex., 11-VII) 関宮町出合 (1 ex., 28-VI) (2 exs., 12-VII)
 (1 ex., 23-VII) ネムノキ伐木・枯れ枝, ヤマハゼ・カエデ類・クリ・ガ
 マズミ花, 土場 (ネムノキ)
61. *Thranis variegatus variegatus* トラフホソバナカミキリ
 関宮町出合 (1 ex., 12-VII) (1 ex., 19-VII) 土場 (ケヤキ)
62. *Rosalia (Rosalia) batesi* ルリボシカミキリ
 温泉町飯野 (1 ex., 13-VII) 村岡町兎和野 (3 exs., 29-VII) (1 ex., 15-VIII,
 谷角素彦) 美方町小代溪谷 (1 ex., 31-VII) (1 ex., 2-VIII) (5 exs., 15-VIII)
 (2 exs., 23-VIII) 関宮町福定 (1 ex., 24-VII) 奈良尾 (1 ex., 8-VII) 大久保
 (1 ex., 23-VII) アカメガシワ・ヌルデ花, カキ・シラカバ・コナラ・サ
 ワグルミ・エゴノキ・ミズナラの伐木, 枯れ枝
63. *Chloridolum (Chloridolum) thaliodes* オオアオカミキリ
 美方町小代溪谷 (1 ex., 27-VII) (1 ex., 29-VII) (1 ex., 31-VII) (5 exs.,
 7-VIII) (6 exs., 15-VIII) (1 ex., 17-VIII) (4 exs., 23-VIII) (5 exs., 27-VII,
 永幡・川元裕) サワグルミ伐木・老衰木 夕刻来集する
64. *C. (Leonium) viride* ミドリカミキリ
 浜坂町観音山 (7 exs., 31-V, 永幡・川元裕) スダジイ倒木
65. *Schwarzerium quadricollis* アオカミキリ
 温泉町湯谷 (1 ex., 20-VII) リョウブ花付近の草上
66. *Purpuricenus (Sternoplistes) temminckii* ベニカミキリ
 温泉町千谷 (3 exs., 1-VI) 内山 (1 ex., 12-VI) 湯 (1 ex., 12-VI) 丹土
 (1 ex., 25-VI) 村岡町村岡 (2 exs., 13-VI) 関宮町福定 (1 ex., 8-VII) 大
 久保 (1 ex., 28-VI) ガマズミ・クリ花, 飛翔中
67. *Callidiellum rufipenne* ヒメスギカミキリ

- 温泉町扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 6-VI) (1 ex., 14-VI) 村岡町兎和野
(1 ex., 1-VI) 関宮町出合 (11 exs., 3-V) スギ伐木, 土場 (スギ)
68. *Semanotus japonicus* スギカミキリ
関宮町出合 (1 ex., 3-V) 土場 (スギ)
69. *Phymatodes (Phymatodes) testaceus* チャイロホソヒラタカミキリ
村岡町兎和野 (1 ex., 3-VI) (3 exs., 5-VI) (1 ex., 11-VI) (1 ex., 1-VII) コナラ伐木 (夜間)
70. *Xylotrechus chinensis* トラフカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 28-VII) (1 ex., 5-VIII) 関宮町奈良尾 (7 exs., 24-VII)
(3 exs., 27-VII) (1 ex., 30-VII) (1 ex., 23-VII) クワ生木・伐枝
71. *X. yanoi* ヤノトラカミキリ
浜坂町城山 (2 exs., 21-VII) 温泉町海上 (1 ex., 30-VII) (4 exs., 17-VIII)
(1 ex., 21-VIII) (1 ex., 29-VIII) (1 ex., 5-IX) エノキ伐木
72. *X. rufilius* クビアカトラカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 10-VI) 温泉町海上 (3 exs., 12-VII) (3 exs., 18-VII)
(3 exs., 27-VII) (3 exs., 30-VII) 村岡町兎和野 (1 ex., 4-VII) 美方町石寺
(1 ex., 25-VI) 関宮町出合 (1 ex., 8-VII) エノキ他各種広葉樹の伐木
73. *X. emaciatu*s ニイジマトラカミキリ
温泉町春來 (2 exs., 11-VII) 扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 7-VIII) 美方町小代溪谷
(4 exs., 29-VII) (1 ex., 2-VIII) (1 ex., 15-VIII) 関宮町出合 (1 ex., 12-VII)
(1 ex., 19-VII) (3 exs., 23-VII) (3 exs., 24-VII) シデ類ほか各種広葉
樹の伐木
74. *X. cureipennis* ウスイロトラカミキリ
温泉町海上 (1 ex., 12-VII) (1 ex., 30-VII) (1 ex., 4-VIII) 扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 7-VIII)
扇ノ山大ヅッコ (2 exs., 7-VIII) 村岡町兎和野 (3 exs., 29-VII)
(1 ex., 30-VII) 関宮町出合 (1 ex., 12-VII) 美方町小代溪谷 (2 exs., 29-VII)
(1 ex., 15-VIII) ブナ・エノキなど各種広葉樹の伐木, 倒木, 土場
75. *X. grayii grayii* ムネマダラトラカミキリ
村岡町兎和野 (3 exs., 4-VII) リョウブ伐木
76. *Cyrtoclytus caproides caproides* キスジトラカミキリ
温泉町中辻 (2 exs., 2-VII) 村岡町兎和野 (5 exs., 4-VII) (1 ex., 19-VII)

- 関宮町出合 (1 ex., 28-VI) 奈良尾 (2 exs., 8-VII) シラカバ・イロハモ
ミジ・クワ枯れ枝, 土場
77. *Clytus melaenus* シラケトラカミキリ
浜坂町観音山 (3 exs., 31-V) 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 1-VI) 越坂 (1 ex.,
13-VI) スダジイ倒木, クリ・サワフタギ花
78. *C. auripilis* キンケトラカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 31-V) 村岡町大 (7 exs., 31-X) 温泉町肥前畑
(1 ex., 16-XI) マユミ花, ケヤキ枯れ枝材中 (新成虫)
79. *Chlorophorus japonicus* エグリトラカミキリ
温泉町千谷 (1 ex., 1-VI) (2 exs., 2-VI) 越坂 (1 ex., 13-VI) (1 ex.,
2-VII) 春來 (1 ex., 13-VII) 中辻 (2 exs., 25-VI) 海上 (2 exs., 30-VII) 美
方町神場 (2 exs., 4-VII) 小代溪谷 (1 ex., 15-VIII) 村岡町兎和野 (3 exs.,
19-VII) (1 ex., 29-VII) 村岡 (1 ex., 13-VI) 関宮町福定 (1 ex., 8-VII) 出
合 (1 ex., 28-VI) (2 exs., 12-VII) 大屋町若杉峠 (4 exs., 2-VIII) ガマ
ズミ・クリ花, ヌルデ・クワ・モミジ・ケヤキ・カラスザンショウなど各種
広葉樹の枯れ枝, 伐木, 薪, 土場
80. *C. diaminea inhirsutus* クロトラカミキリ
関宮町福定 (1 ex., 24-VII) 室内
81. *C. muscosus* フタオビミドリトラカミキリ
浜坂町三尾 (1 ex., 5-VIII) 城山 (1 ex., 21-VII) 関宮町出合 (1 ex., 12-VII)
奈良尾 (1 ex., 24-VII) 土場, エノキ・クワ枯れ枝, 草上
82. *Rhaohuma diminuta diminuta* ヒメクロトラカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 21-VI) 観音山 (2 exs., 31-V) 温泉町千谷 (1 ex., 2-
VI) 霧ヶ滝 (1 ex., 3-V) (1 ex., 29-V) 村岡町村岡 (1 ex., 11-VI)
カエデ類・ガマズミ・サワフタギ花, スダジイ倒木
83. *Hayashiclytus acutivittis* カンボウトラカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 1-VI) サワフタギ花
84. *Grammographus notabilis notabilis* キイロトラカミキリ
浜坂町城山 (3 exs., 6-VI) (2 exs., 8-VI) (1 ex., 9-VI) (10 exs., 10-
VI) (3 exs., 21-VI) 温泉町千谷 (3 exs., 1-VI) 海上 (1 ex., 6-VI) (1
ex., 12-VII) (2 exs., 18-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) 神場 (3 exs.,

- 4-VII) 関宮町出合 (9 exs., 28-VI) (2 exs., 12-VII) (3 exs., 24-VII)
 ガマズミ・ヤマハゼ花, コナラなど各種広葉樹の伐木, 薪, 土場, 灯火
85. *Demonax transilis* トゲヒゲトラカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 10-VI) 温泉町霧ヶ滝 (4 exs., 29-V) (1 ex., 31-V)
 (1 ex., 1-VI) (4 exs., 2-VI) (3 exs., 6-VI) 越坂 (1 ex., 13-VI) 村
 岡町兎和野 (2 exs., 28-V) (1 ex., 1-VI) 丸味 (2 exs., 15-VI) 相岡 (4
 exs., 15-VI) 村岡 (2 exs., 13-VI) 美方町小代溪谷 (1 ex., 30-V)
 ヤマハゼ・クリ・サワフタギ・ヤブデマリ・ガマズミ花
86. *Paraclytus excultus* シロトラカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 27-V) (1 ex., 29-V) (1 ex., 30-V) (1 ex., 31-
 V) (1 ex., 9-VI) 扇ノ山大ヅッコ (1 ex., 6-VI) サワフタギ・ヤブ
 デマリ花
87. *Anaglyptus*(*Anaglyptus*) *subfasciatus* スギノアカネトラカミキリ
 温泉町越坂 (1 ex., 21-VI) 村岡町村岡 (1 ex., 11-VI) 相岡 (6 exs., 15-VI)
 丸味 (2 exs., 15-VI) ガマズミ・クリ花
88. *A. (A.) niponensis* トガリバアカネトラカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 1-VI) 村岡町村岡 (1 ex., 11-VI) サワフタギ花
89. *A. (A.) matsushitai* マツシタトラカミキリ
 温泉町扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 14-VI) ヤブデマリ花
90. *Falsomesosella*(*Falsomesosella*) *gracilior* シロオビゴマフカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 22-VI) (2 exs., 29-VI) 美方町小代溪谷 (1 ex., 4-VII)
 ネムノキ・サワグルミ枯れ枝
91. *Mesosa*(*Mesosa*) *japonica* ゴマフカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 21-VI) 温泉町海上 (1 ex., 4-VI) 春來 (2 exs., 11-VII)
 村岡町兎和野 (1 ex., 3-VI) (1 ex., 11-VI) 関宮町出合 (1 ex., 28-VI) (
 1 ex., 12-VII) (1 ex., 24-VII) フジ枯れづる, 各種広葉樹の伐木, 土場
92. *M. (Perimesosa) hirsuta hirsuta* カタシロゴマフカミキリ
 温泉町海上 (1 ex., 21-VII) (1 ex., 5-IX, 川元裕) (1 ex., 4-X) 村岡町
 相岡 (1 ex., 6-IX) (1 ex., 12-IX) 関宮町出合 (1 ex., 24-VII) ケヤキ
 伐木, 土場 (トチノキ), 灯火. 晩期まで見られる
93. *M. (Aphelocnemia) longipennis* ナガゴマフカミキリ

- 浜坂町田井 (2 exs., 5-VIII) 温泉町海上 (1 ex., 27-VIII) (1 ex., 29-VIII) 村岡町兎和野 (1 ex., 19-VI) 美方町秋岡 (1 ex., 15-VIII) 関宮町出合 (2 exs., 24-VI) (1 ex., 20-VIII) 大屋町若杉峠 (1 ex., 2-VIII) スダジイ枯死部, コナラ伐木, 薪, 土場
94. *M. (A.) senilis* タテスジゴマフカミキリ
村岡町兎和野 (3 exs., 11-VI) 関宮町出合 (1 ex., 6-VI) コナラ伐木, 土場 (夜間)
95. *Asaperda agapanthia* シナノクロフカミキリ
美方町小代溪谷 (1 ex., 31-VI) 大屋町氷ノ山大段ヶ平 (1 ex., 1-VIII) サワグルミ枯れ枝, 夕刻飛翔中
96. *A. rufipes* キクスイモドキカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 31-V) 村岡町大笹 (鉢北大池) (1 ex., 30-VI) 関宮町福定 (1 ex., 23-VI) フジ, ハルニレ, ヤナギ類枯れ枝
97. *Atimura japonica* コブスジサビカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 22-X) 枯れ枝
98. *Sybra (Sybra) unifasciata* ヒトオビチビカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VI) 灯火
99. *S. (Sybrodiboma) subfasciata subfasciata* シロオビチビカミキリ
温泉町扇ノ山上山 (2 exs., 2-VI) 美方町小代溪谷 (5 exs., 29-VI) (4 exs., 31-VI) (1 ex., 15-VIII) 関宮町福定 (1 ex., 28-VI) サワフタギ・ヤマボウシ・サワグルミ枯れ枝. サワグルミでは枯れ枝の先端に多い.
100. *Cleptometopus bimaculatus* ハスオビヒゲナガカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 29-VI) キブシ枯れ枝
101. *Egesina (Niijimaia) bifasciata bifasciata* ニイジマチビカミキリ
温泉町伊角 (1 ex., 26-VI) クワ枯れ枝
102. *Pterolophia (Pterolophia) leiopodina* ヒメナガサビカミキリ
温泉町春来 (2 exs., 11-VI) 村岡町村岡 (1 ex., 15-VI) 関宮町奈良尾 (1 ex., 24-VI) クワ枯れ枝, フジ枯れづる
103. *P. (P.) zonata* アトジロサビカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 10-V) (1 ex., 22-VI) (3 exs., 29-VI) 温泉町霧ヶ滝 (3 exs., 11-VI) 村岡町村岡 (1 ex., 15-VI) 美方町小代溪谷 (3 exs., 29-VI)

フジ枯れづる, ネムノキ・クワ・サワグルミ枯れ枝, キリ材中

104. *P. (P.) castaneivora* クリサビカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 25-VII) 灯火
105. *P. (P.) tsurugiana* エゾサビカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (4 exs., 25-VII) (1 ex., 27-VII) (1 ex., 7-VII) 関
宮町氷ノ山北尾根 (2 exs., 31-VII) ブナ・タラノキ枯れ枝, 灯火
106. *P. (P.) caudata caudata* トガリシロオビサビカミキリ
浜坂町居組 (2 exs., 22-VI) 温泉町海上 (1 ex., 21-VII) (3 exs., 27-VII) 春
来 (4 exs., 11-VII) 村岡町兎和野 (1 ex., 1-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 7-
VII) (2 exs., 15-VII, 永幡・谷角素彦) 関宮町福定 (1 ex., 23-VII)
ツルグミ・フジ枯れづる, イチジク枯れ枝, 灯火
107. *P. (P.) granulata* アトモンサビカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 17-V) (2 exs., 31-V) 温泉町春来 (1 ex., 11-VII) 伊
角 (1 ex., 16-VII) 霧ヶ滝 (1 ex., 17-VI) 村岡町大笹 (鉢北) (1 ex., 6-VII)
美方町秋岡 (1 ex., 15-VII) 関宮町出合 (2 exs., 24-VII) フジ枯れづる,
サワグルミ・コナラ・クワ枯れ枝, 土場
108. *P. (Ale) jugosa jugosa* ナカジロサビカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 1-VI) 春来 (1 ex., 11-VII) ネムノキ枯れ枝, フ
ジ枯れづる
109. *Mesosella simiola* クワサビカミキリ
温泉町扇ノ山海上林道 (1 ex., 1-VI) ミズキ枯れ枝
110. *Parechthistatus gibber gibber* セダカコブヤハズカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 30-V) (1 ex., 7-VI) (1 ex., 22-VII) 木道, ケ
ヤキ葉上, サワフタギスイーピング
111. *Monochamus (Monochamus) alternatus* マツノマダラカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 22-VI) 居組 (1 ex., 22-VI) 温泉町海上 (1 ex., 21-VII)
関宮町出合 (1 ex., 28-VI) (1 ex., 6-VII) アカマツ生枝, 伐木, 土場
(夜間)
112. *M. (M.) saltuarius* カラフトヒゲナガカミキリ
村岡町兎和野 (1 ex., 3-VI) アカマツ伐木 (夜間)
113. *M. (M.) subfasciatus subfasciatus* ヒメヒゲナガカミキリ

浜坂町城山 (1 ex., 10-VI) (2 exs., 22-VI) (1 ex., 29-) 温泉町春來 (1 ex., 13-VII) 霧ヶ滝 (1 ex., 27-VI) 扇ノ山小ヅッコ (3 exs., 7-VII) 扇ノ山畑ヶ平 (2 exs., 7-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) 関宮町出合 (1 ex., 6-VII) 福定 (1 ex., 28-VI) キブシ・カラスザンショウ・ブナ・ヤマボウシほか各種広葉樹の枯れ枝, 伐木, 土場 (夜間)

114. *Anoplophora malasiaca* ゴマダラカミキリ

浜坂町城山 (2 exs., 26-VII) 温泉町湯谷 (2 exs., 20-VII) 村岡町相岡 (1 ex., 21-VII) 村岡 (1 ex., 25-VII) 兎和野 (1 ex., 29-VII) 関宮町鉢伏山 (1 ex., 23-VII) カエデ類・ヤマハンノキ・ヤナギ類生木, 草上, 灯火

115. *Acalolepta luxuriosa luxuriosa* センノキカミキリ

温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) 関宮町出合 (1 ex., 24-VII) 福定 (4 exs., 19-VII) センノキ生枝, 灯火, 土場 (夜間)

116. *A. fraudatrix fraudatrix* ビロウドカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 18-VII) 海上 (1 ex., 21-VIII) 飯野 (2 exs., 3-VII) 扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 25-VII) (1 ex., 24-VIII) (2 exs., 26-VIII) 村岡町兎和野 (1 ex., 29-VII) (1 ex., 15-VIII) 相岡 (1 ex., 21-VIII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 27-VII) (1 ex., 29-VII) (1 ex., 31-VII) (1 ex., 15-VIII) 関宮町尾原 (1 ex., 24-VII) 出合 (1 ex., 6-VII) (5 exs., 24-VII) (1 ex., 20-VIII) クマノミズキ・サワグルミ・アラカシ・アカマツなど各種枯れ枝・伐木, 土場 (夜間), 灯火, 山小屋内

117. *A. sejuncta sejuncta* ニセビロウドカミキリ

温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) (1 ex., 24-VIII) 関宮町出合 (1 ex., 24-VII) 土場 (夜間), タムシバ伐木, 灯火

118. *Uraecha bimaculata bimaculata* ヤハズカミキリ

浜坂町城山 (1 ex., 29-VI) 温泉町千谷 (1 ex., 18-VII) 扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) 関宮町出合 (1 ex., 12-VII) 福定 (1 ex., 27-VII) キブシ・クワ・イチジク枯れ枝, 土場, 灯火

119. *Psacotha hilaris hilaris* キボシカミキリ

温泉町春來 (1 ex., 15-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) 関宮町奈良尾 (1 ex., 15-VII) (3 exs., 23-VIII) クワ生葉

120. *Eupromus ruber* ホシベニカミキリ

- 浜坂町城山 (1 ex., 10-VI) (1 ex., 14-VII) 居組 (4 exs., 12-VI) (1 ex., 22-VI) タブノキ生枝, 飛翔中. タブノキ・ヤブニッケイに産卵痕
121. *Apriona japonica* クワカミキリ
村岡町熊波 (1 ex., 26-VIII) クワ生枝
122. *Palimna liturata* ヒゲナガゴマフカミキリ
温泉町扇ノ山畑ヶ平 (10 exs., 7-VIII) ブナの新しい倒木
123. *Rhodopina lewisii lewisii* セミスジコブヒゲカミキリ
村岡町村岡 (1 ex., 11-VI) 飛翔中
124. *Rhopaloscelis unifasciatus* ヒトオビアラゲカミキリ
浜坂町城山 (1 ex., 31-V) (1 ex., 25-VI) (1 ex., 29-VI) 村岡町大笹 (鉢北大池) (2 exs., 30-VI) 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 1-VI) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) ネムノキ・アカメガシワ・ヤナギ類枯れ枝
125. *R. maculatus* フタモンアラゲカミキリ
美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) サワグルミ枯れ枝
126. *Arhopaloscelis bifasciatus* フタオビアラゲカミキリ
美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) サワグルミ枯れ枝
127. *Clytosemia pulchra* ジュウジクロカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (2 exs., 17-VII) サワグルミ枯れ枝
128. *Mimectatina divaricata divaricata* ドイカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 6-VI) ブナ生葉上
129. *Anaesthetobrium luteipenne* キバネアラゲカミキリ
温泉町熊谷 (大熊) (2 exs., 16-VII) 千谷 (1 ex., 25-VII) 伊角 (1 ex., 26-VII) クワの葉のついた枯れ枝. 枯葉の中にいる
130. *Acanthocinus griseus orientalis* ヒゲナガモモブトカミキリ
温泉町海上 (3 exs., 21-VIII) (5 exs., 27-VIII) 関宮町出合 (1 ex., 23-VIII) アカマツ伐木, 土場 (アカマツ)
131. *Leiopus stillatus* ゴマダラモモブトカミキリ
温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 11-VII) シデ類枯れ枝
132. *Rondibilis saperdina* トゲバカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 25-VII) 扇ノ山畑ヶ平 (3 exs., 7-VIII) 関宮町氷ノ山北尾根 (2 exs., 31-VII) 灯火, ブナ枯れ枝

133. *Exocentrus testudineus* キッコウモンケシカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 25-VII) 灯火
134. *E. fasciolatus* クモガタケシカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 28-VII) クワ枯れ枝
135. *E. guttulatus* シラオビゴマフケシカミキリ
 温泉町春来 (1 ex., 11-VII) (2 exs., 13-VII) フジ枯れづる
136. *Sciades(Miaenia) tonsus* ケシカミキリ
 浜坂町城山 (4 exs., 29-VII) (1 ex., 8-VII) キブシ枯れ枝
137. *Saperda(Saperda) ohbayashii* ブロイニングカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 31-V) 村岡町大笹 (鉢北) (1 ex., 6-VII) 美方町小
 代溪谷 (1 ex., 4-VII) オニグルミ・サワグルミ生葉
138. *Eutetrarcha ocelota* ヤツメカミキリ
 関宮町出合 (4 exs., 12-VII) 土場
139. *E. chrysochloris chrysochloris* ハンノアオカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (3 exs., 25-VII) 美方町小代溪谷 (4 exs., 27-VII) (3 exs., 29-VII) (3 exs., 31-VII) (1 ex., 2-VII) (2 exs., 7-VII) (1 ex., 15-VII) (2 exs., 17-VII) 関宮町福定 (1 ex., 28-VI) 出合 (1 ex., 12-VII)
 シナノキ生葉, サワグルミ伐木, 土場
140. *Pareutetrarcha eximia* フチグロヤツボシカミキリ
 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) 関宮町出合 (1 ex., 12-VII) ホオノキ伐
 木, 土場 (ホオノキ)
141. *P. simulans* ニセシラホシカミキリ
 温泉町丹土 (4 exs., 16-VI) (10 exs., 18-VI) (1 ex., 24-VI) 温泉町霧ヶ滝
 (1 ex., 27-VI) 扇ノ山上山 (2 exs., 27-VI) (4 exs., 2-VII) 村岡町和佐父
 (3 exs., 6-VII) 大笹 (鉢北大池) (7 exs., 30-VI) (3 exs., 6-VII) 関宮
 町鉢高原 (6 exs., 28-VI) サワフタギ生葉
142. *Cagosima sanguinolenta* ハンノキカミキリ
 村岡町兎和野 (1 ex., 1-VI) 関宮町福定 (11 exs., 11-VI) ヤマハンノキ
 生葉. 幼木に多い.
143. *Paraglenea fortunei* ラミーカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 31-V) (6 exs., 8-VI) (1 ex., 19-VI) (5 exs., 25-

VI) (1 ex., 29-VI) 居組 (1 ex., 22-VI) 久谷 (1 ex., 16-VII) 温泉町千原 (1 ex., 1-VII) 海上 (1 ex., 18-VII) 飯野 (2 exs., 3-VIII) 檜尾 (1 ex., 16-VII) 蒲生峠 (3 exs., 2-VII) 熊谷 (大熊) (1 ex., 16-VII) 温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 22-VII) 村岡町川会 (1 ex., 6-VII) 美方町小代溪谷 (1 ex., 29-VII) (1 ex., 15-VIII) 関宮町氷ノ山大平頭 (1 ex., 19-VII) カラムシ群落, シナノキ生木, 草上や葉上. 伐木の周辺にも多い.

144. *Menesia sulphurata* キモンカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (2 exs., 27-VI) (1 ex., 22-VII) 扇ノ山上山 (1 ex., 27-VI) 美方町小代溪谷 (14 exs., 29-VII) (1 ex., 31-VII) (2 exs., 2-VIII) 村岡町大笹 (鉢北) (6 exs., 6-VII) サワグルミ・ヤマウルシ生葉, サワグルミ枯れ枝・伐木

145. *M. flavotecta* オニグルミノキモンカミキリ

浜坂町城山 (12 exs., 8-VII) (1 ex., 11-VII) (2 exs., 14-VII) (1 ex., 28-VII) 温泉町後山 (1 ex., 12-VII) 肥前畑 (1 ex., 20-VII) 関宮町福定 (1 ex., 19-VII) オニグルミ生葉. 前種と共に夕刻活発に後食.

146. *Paramenesia theaphia* ジュウニキボシカミキリ

関宮町氷ノ山大平頭 (1 ex., 12-VII) センノキ生葉

147. *Glenea (Glenea) centroguttata* イッシキキモンカミキリ

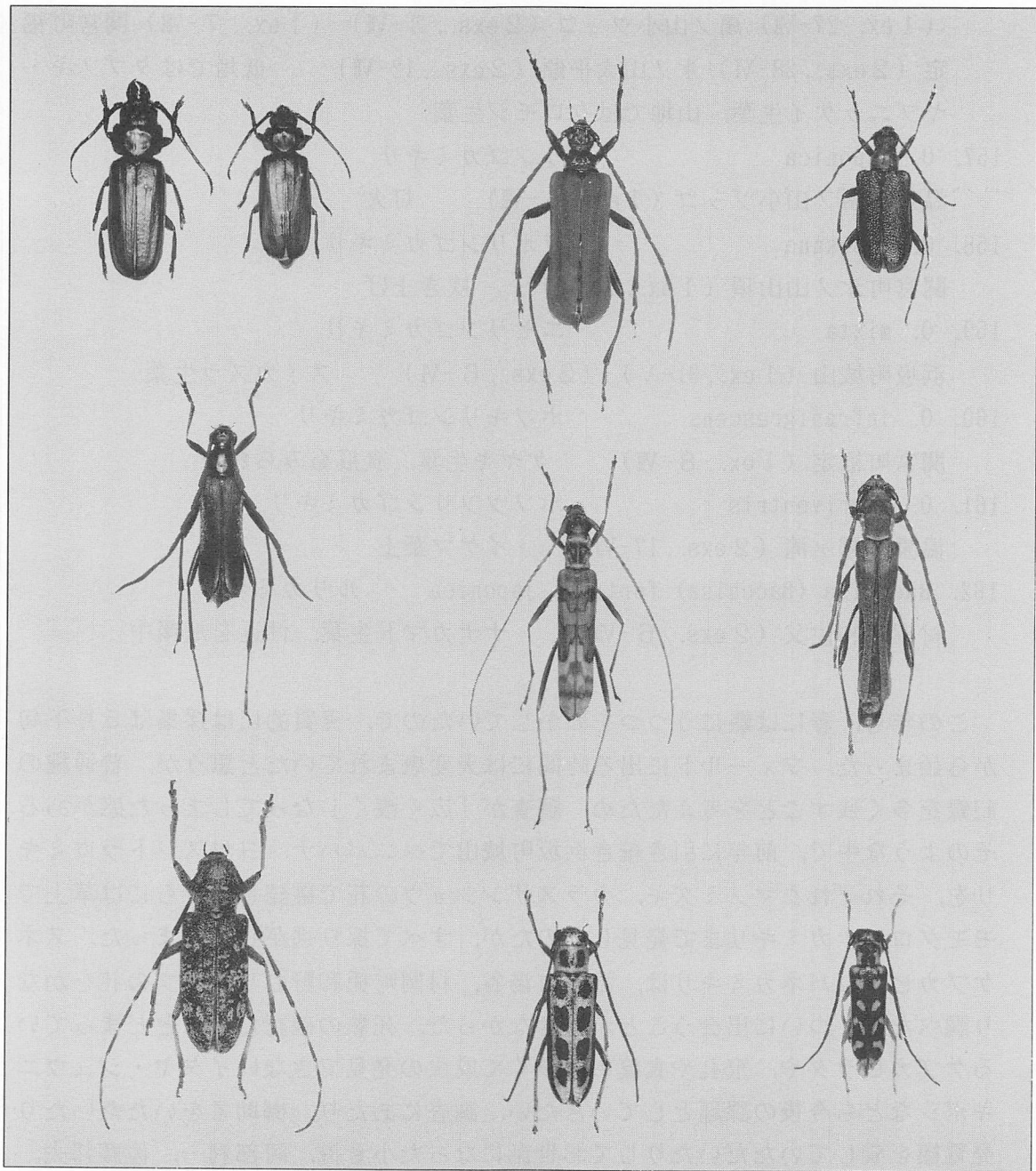
浜坂町味原 (1 ex., 15-VII) 城山 (1 ex., 8-VII) (4 exs., 14-VII) 久谷 (1 ex., 16-VII) 温泉町千原 (1 ex., 1-VII) 千谷 (2 exs., 18-VII) (1 ex., 25-VII) 歌長 (1 ex., 9-VIII) 檜尾 (1 ex., 16-VII) 熊谷 (大熊) (1 ex., 16-VII) 春來 (1 ex., 15-VII) (2 exs., 29-VII) 後山 (1 ex., 12-VII) 村岡町村岡 (3 exs., 25-VIII) 和田 (3 exs., 29-VII) 美方町小代溪谷 (2 exs., 27-VII) (3 exs., 29-VII) (2 exs., 31-VII) (1 ex., 15-VIII) (3 exs., 23-VIII) 関宮町大久保 (3 exs., 19-VII) (4 exs., 24-VII) クワ生葉. コナラ枯れ木に飛来.

148. *G. (G.) relictata relictata* シラホシカミキリ

温泉町霧ヶ滝 (1 ex., 13-VII) 海上 (1 ex., 21-VIII) 扇ノ山海上林道 (1 ex., 27-VI) 扇ノ山小ヅッコ (4 exs., 25-VII) (1 ex., 7-VIII) 扇ノ山大ヅッコ (1 ex., 7-VIII) 扇ノ山畑ヶ平 (1 ex., 7-VIII) 村岡町村岡 (1 ex., 11-VI) 兎和野 (1 ex., 29-VII) 美方町小代溪谷 (9 exs., 29-VII) (2 exs., 2-VIII) 関宮町奈良尾 (1 ex., 8-VII) 出合 (1 ex., 28-VI) (1 ex., 12-VII) サワグル

ミ・ブナ・イロハモミジなど各種広葉樹の伐木，土場，サルナシ生葉，リョ
ウブ・ソヨゴ葉上，灯火

149. *Eumecocera gleneoides* シラホシキクスイカミキリ
温泉町霧ヶ滝（1 ex., 1-VI）肥前畑（1 ex., 26-VI）村岡町大笹（鉢北大池）
（1 ex., 6-VII）関宮町福定（1 ex., 6-VII）氷ノ山大平頭（1 ex., 12-VII）
シナノキ・ハルニレ生葉，飛翔中
150. *E. trivittata* セミスジニセリンゴカミキリ
関宮町氷ノ山大平頭（1 ex., 12-VII）クロモジ葉上
151. *E. unicolor* クロニセリンゴカミキリ
温泉町扇ノ山小ヅッコ（1 ex., 25-VII）扇ノ山畑ヶ平（1 ex., 14-VI）関宮町
福定（7 exs., 28-VI）（4 exs., 6-VII）氷ノ山大平頭（5 exs., 12-VII）
シナノキ生葉，ミズキ花，灯火
152. *Niponostenostola niponensis pterocaryai* チチブニセリンゴカミキリ
温泉町霧ヶ滝（1 ex., 29-V）関宮町福定（4 exs., 28-VI）（3 exs., 6-VII）
（1 ex., 19-VII）シナノキ生葉，草上
153. *Phytoecia (Phytoecia) rufiventris* キクスイカミキリ
浜坂町城山（1 ex., 28-V）（1 ex., 6-VI）美方町小代溪谷（1 ex., 30-V）
ヨモギ茎上
154. *Epiglenea comes comes* ヨツキボシカミキリ
浜坂町城山（1 ex., 17-V）（7 exs., 28-V）（5 exs., 31-V）（1 ex., 19-
VI）温泉町越坂（1 ex., 21-VI）蒲生峠（1 ex., 2-VII）扇ノ山海上林道
（1 ex., 2-VII）村岡町兎和野（1 ex., 4-VII）村岡（1 ex., 11-VI）関宮町鉢
高原（4 exs., 28-VI）出合（1 ex., 23-VII）ヌルデ生葉・伐木，土場，ガ
マズミ花
155. *Nupserha marginella* ヘリグロリンゴカミキリ
浜坂町城山（1 ex., 21-VI）（1 ex., 29-VI）（1 ex., 8-VII）温泉町霧ヶ滝（
1 ex., 27-VI）（2 exs., 17-VII）（2 exs., 22-VII）扇ノ山小ヅッコ（1 ex.,
25-VII）扇ノ山海上林道（1 ex., 27-VI）美方町小代溪谷（1 ex., 15-VII）関宮
町福定（1 ex., 28-VI）鉢高原（1 ex., 28-VI）草原を飛翔中，灯火
156. *Oberea hebesceus* ヒメリンゴカミキリ
浜坂町城山（2 exs., 28-V）（1 ex., 31-V）温泉町霧ヶ滝（1 ex., 4-VI）



(上段左より)ベーツヒラタカミキリ♂♀, ムナコブハナカミキリ, クビ
アカハナカミキリ (中段左より)ベニバハナカミキリ, ベーツヤサカミ
キリ, トラフホソバネカミキリ (下段左より)カラフトヒゲナガカミキ
リ, フチグロヤツボシカミキリ, ジュウニキボシカミキリ

(1 ex., 27-VII) 扇ノ山小ヅッコ (2 exs., 3-VII) (1 ex., 7-VII) 関宮町福定 (2 exs., 28-VI) 氷ノ山大平頭 (2 exs., 12-VII) 低地ではタブノキ・ヤブニッケイ生葉, 山地ではクロモジ生葉

157. *O. japonica* リンゴカミキリ
 温泉町扇ノ山小ヅッコ (1 ex., 6-VII) 灯火
158. *O. sobosana* ソボリンゴカミキリ
 関宮町氷ノ山山頂 (1 ex., 31-VII) 吹き上げ
159. *O. mixta* ニセリンゴカミキリ
 浜坂町城山 (1 ex., 31-V) (2 exs., 6-VI) スイカズラ生葉
160. *O. infranigrescens* ホソキリンゴカミキリ
 関宮町福定 (1 ex., 8-VII) ケヤキ生葉, 食痕もみられた
161. *O. nigriventris* ホソツツリンゴカミキリ
 温泉町霧ヶ滝 (2 exs., 17-VII) イケマ葉上
162. *Bacchisa* (*Bacchisa*) *fortunei japonica* ルリカミキリ
 村岡町和佐父 (2 exs., 6-VII) ナナカマド生葉, 付近を飛翔中

この年も、春には蝶にうつつをぬかしていたので、実質的には採集は5月下旬から始まった。フィールドに出る時間には大変恵まれていたと思うが、普通種の記録を多く残すことを考えたため、調査が「広く浅く」なってしまった感がある。そのような中で、前年に引き続き浜坂町城山でベニバハナ、ヨツスジトラカミキリを、それぞれクマノミズキ、カラスザンショウの花で確認し、さらには草上でモモグロハナカミキリまで発見したのだが、すべて採り逃がしてしまった。スネケブカヒロコバネカミキリは、温泉町湯谷、村岡町兎和野のリョウブの花をかなり調べたが、ついに出会うことができなかった。死骸の確認だけにとどまっているケブカヒラタや、飛孔や食痕のみ多くて成虫の発見できないイタヤ・ジュウニキボシなども今後の課題としていきたい。調査にあたり、御助言をいただいたり発電機を貸していただいたりしてお世話になった小倉滋、阿部利一、佐藤邦夫、谷角素彦、足立義弘、黒井和之の各氏、そして調査に度々同行して下さった鳥取大学の川元裕、上田裕両氏に厚く御礼申し上げる。

美方町秋岡で採集した マグソクワガタについて

足立義弘

筆者は、1991年4月28日に兵庫県の美方町秋岡で、マグソクワガタ *Nicagus japonicus* 1♂を採集し、「月刊むし」に発表した（足立，1991）。「IRATSUME」に発表しなかったのは、本種の記録は但馬はもとより兵庫県では初めてであり、より多くの人の目に触れるようにと考えたためである。このため「月刊むし」を購読していない会員の方はこの記録についてはもちろん、甲虫に興味のない方はマグソクワガタ自体を知らないのではないと思われる。そこでマグソクワガタの簡単な紹介と、秋岡での採集状況について記しておきたい。

マグソクワガタの分布は、北海道と本州の近畿以北。成虫は山地の河川の川岸で見られ、幼虫は川岸に埋もれている材から得られている。発生期は4月中旬から6月中旬である。また分類学上の位置は諸説あって一定ではないが、日本ではこれまでコブスジコガネ科として扱われることが一般的であった。ところが1990年9月、田花雅一氏によって幼虫が発見されるにおよび、その形態から、マグソクワガタはクワガタムシ科の甲虫であることが明らかにされた。これらについては、田花・奥田（1992）に詳しい。

採集場所は、矢田川上流の秋岡からさらに上流へ向かって最初の砂防で、砂礫の堆積した小岸であった。午後2時過ぎ、木漏れ日のあたる小礫上で1♂を採った。さらに追加採集しようと、その周りや対岸などを1時間ほど探したが2個体目は得られなかった。奈良県吉野川上流北股川での採集経験では二桁は採れるはずであった。北股川では、採っても採っても次から次と何処からともなく現れ、短時間で多数の個体を得ることができた。この印象が強かったためか、1頭採れば複数の個体が採れると考えていた。

その後、秋岡はもちろん、兵庫県での追加記録もない。兵庫県の河川の調査をした人もいるが採集はできなかったと聞いている。河川の規模が小さく、良好な生息環境が少ないためか、それとも奈良の北股川などとは発生地が異なるのか、いろいろ考えてしまう。ともかく但馬でのさらなる記録を期待したい。

参考文献

- 足立義弘 (1991) 兵庫県でマグソクワガタを採集, 月刊むし250:4.
田花雅一・奥田則夫 (1992) マグソクワガタについて, 月刊むし256:3-10.

兎和野高原のホソハンミョウの記録

足立義弘

古い記録になるが, 兵庫県村岡町兎和野高原でホソハンミョウ *Cicindela gracilis* を採集しているので報告しておく.

〈採集データ〉 1982-VIII-16, 村岡町兎和野高原, 1 ex.

この個体は野外教育センターそばの雑木林の林床を這っていたものである. ホソハンミョウの但馬での記録は, 扇ノ山 (高橋, 1982), 鉢伏山 (芦田, 1992) があるが少ないと思われる.

参考文献

- 高橋 匡 (1982) 但馬地方昆虫目録 予報第7報, IRATSUME 6:57-76.
芦田 久 (1992) 兵庫県におけるホソハンミョウの記録, 月刊むし262:12.

村岡町でムネアカセンチコガネを採集

永幡嘉之

ムネアカセンチコガネ *Bolbocerosoma nigroplagiatum* は、村岡町では大笹の鉢北高原で記録がある（谷角，1987）が，筆者も兎和野高原で死骸を拾得したので記録しておきたい。

死骸 2 exs. 兵庫県美方郡村岡町兎和野 28-X-1992 永幡嘉之

キャンプ場内のトイレの水道の下に落ちていたもので，死後かなり経ってはいたが2個体とも破損はなかった。常夜灯がついており，他にノコギリカミキリなどの死骸も見られたことから，灯火に集したものだと思われる。

幼少の頃，三木市口吉川町善祥寺の自宅ではしばしば門灯に飛来するおなじみの虫であったが，筆者にとっても実に8年ぶりの再会であった。このことは高橋（1989）の報文中でも触れられているが，同時に述べられている多可郡加美町と関宮町氷ノ山の記録についてはデータが未発表なのでここに紹介しておく。

1 ex. 兵庫県多可郡加美町三谷 10-X-1985 淵上正義

1 ex. " 養父郡関宮町梨ヶ原 氷ノ山山麓スキー場
5-VIII-1987 松本正孝

氷ノ山産の標本は現存するが，三谷については所在は不明である。共に筆者が実物をみて確認している。

参考文献

谷角素彦（1987）鉢北高原でムネアカセンチコガネを採集，IRATSUME11:96.

高橋寿郎（1989）ムネアカセンチコガネの記録，きべりはむし17(1):19.

美方郡のアカネキスジトラカミキリ(1)

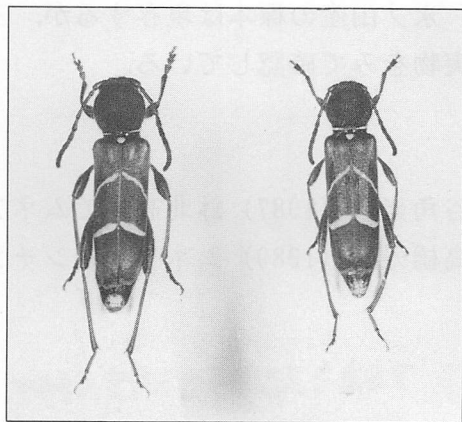
永幡嘉之

1979年に鳥取県高鉢山で発見されたアカネキスジトラカミキリ *Cyrtoclytus monticallisus* は、その後京都府から広島県に至る中国山地で点々と発見されているが、但馬ではあまり採集例を聞かない種である。1993年の早春に、美方郡内で本種の分布調査を行ったところ、広い範囲から発見することができた。短期間の調査ではあるが、今回は採集記録を中心に報告する。採集年はすべて1993年、採集者は筆者である。

兵庫県美方郡浜坂町久斗山	11exs., 31-III
〃 〃 温泉町熊谷大熊	11exs., 31-III
〃 〃 〃 内山	2 exs., 29-III
〃 〃 〃 越坂	11exs., 29-III
〃 〃 〃 海上	22exs., 14-III
〃 〃 〃 岸田花口	8 exs., 9-III, 14exs., 13-III
〃 〃 美方町大谷	2 exs., 31-III
〃 〃 〃 神場	死骸 1 ex., 15-I, 2 exs., 31-III
〃 〃 〃 実山	16exs., 28-III
兵庫県美方郡村岡町長坂	3 exs., 28-III
〃 〃 〃 兎和野	13exs., 14-I
〃 〃 〃 板仕野	35exs., 15-I

温泉町熊谷ではエノキの枯れ枝から、その他はいずれの産地でもエゾエノキの枯れ枝から割り出した。山地のエゾエノキのある所ならたいてい発見できたが、低地のエノキからはほとんど見出されなかった。今後は分布とともに、食性などにも注意を払っていきたい。

図示した標本は、村岡町兎和野産である。標本写真を撮影していただいた足立義弘氏に御礼申し上げる。



浜坂町における ベーツヤサカミキリの採集記録

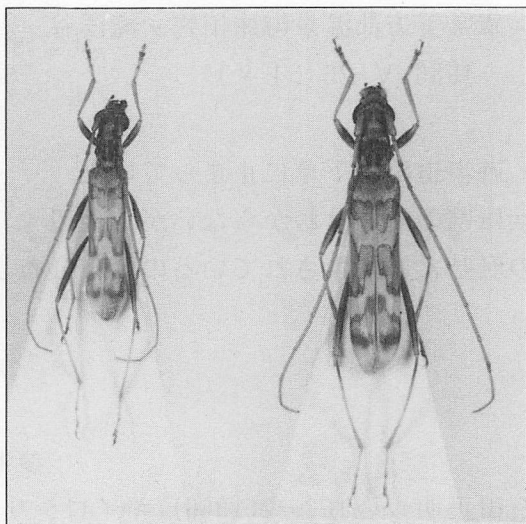
永幡嘉之

ベーツヤサカミキリ *Leptoxenus ibidiiformis* は一般的に採集例のあまり多くない種であるが、このほど美方郡浜坂町で本種の分布調査を行ったところ、各地から発見することができた。データを以下に列挙する。なお、採集年はすべて1993年であるので略した。隣接する香住町での記録も併せて報告する。

[兵庫県美方郡浜坂町] 居組 (3 exs., 10-I), 釜屋 (13 exs., 12-I),
諸寄 (1 ex., 12-I) (5 exs., 13-I), 城山 (14 exs., 11-I), 芦屋
(1 ex., 12-I), 清富 (17 exs., 2-I), 観音山 (4 exs., 26-II)
(10 exs., 28-II) (2 exs., 5-III), 田井 (1 ex., 6-I) (2 exs., 9-I),
赤崎 (19 exs., 6-I), 二日市 (1 ex., 7-I), 栃谷 (3 exs., 5-I),
新市 (15 exs., 13-I), 三尾 (21 exs., 8-I)
[城崎郡香住町] 御崎 (35 exs., 9-I)

タブノキ枯れ枝の材中ですでに新成虫となっており、独特の食痕を残しているため発見は容易であった。食痕は枯れ枝の直径2~5 cm位のところに多く見られた。田井・城山など自然林の中で発見した産地もあるが、むしろ神社や墓地などのタブノキの大木のある場所のほうが発見しやすい。今回調査して発見できなかった七釜、対田、久谷、正法庵、宇都野町、和田、奥諸寄などでは、枯れ枝自体が少なく十分に調べることができなかったため、今後も調査を続けていきたい。

なお、浜坂町新市はやや内陸部であるが、



浜坂町城山産

神社の裏山にカゴノキの大木が5本ほど生えており，その枯れ枝にも本種の食痕が認められた．成虫はタブノキから採集した．

調査にあたり御助言をいただいた阿部利一氏，小倉滋氏に御礼申し上げる．

キイロシリブトジョウカイを 温泉町で採集

佐藤邦夫

特異な形態をしており，比較的珍しい種類と思われるキイロシリブトジョウカイ *Yukikoa wittmeri* を温泉町で採集しているので報告する．

採集記録

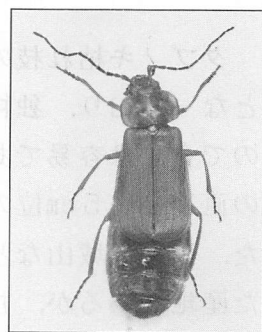
兵庫県美方郡温泉町岸田霧ヶ滝溪谷

1986-V-25 (1 ♀)

遊歩道脇の下草に止まっていた．

兵庫県の記録はわからないが，周辺

の府県では採集されているので，分布していて当然であろう．



参考文献

石田正明・草刈広一 (1986) キイロシリブトジョウカイの新産地，月刊むし187:40.

野村孝明 (1987) キイロシリブトジョウカイの新産地，月刊むし195:40.

笠形山よりコルリクワガタを発見

佐藤邦夫

兵庫県中南部の笠形山（標高939m）で、コルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集したので報告する。

なお、調査・報告にあたり、谷角素彦、田花雅一の両氏にはたいへんお世話になった。ここにお礼を申し上げる。

〈採集記録〉

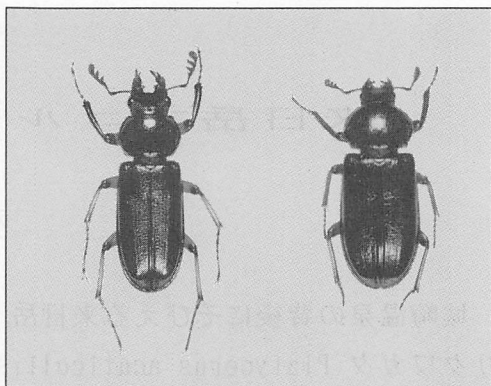
兵庫県神崎郡神崎町根宇野笠形山（北側斜面，標高800～850m付近）

1992-XI-24，12♂♂8♀♀（佐藤邦夫，谷角素彦，田花雅一 採集）

1992-XII-22，1♂（バラバラの死骸）2♀♀（佐藤邦夫 採集）

1992年11月10日に笠形山北側尾根の東側（多可郡八千代町大屋）でコルリクワガタらしき幼虫と産卵マークを発見したことから，11月24日に谷角氏，田花名人の協力得て再度調査して成虫を発見したものである。ちなみに名人一人で16頭も採集している。コルリクワガタ発見のきっかけになった八千代町側は，日当たりがよく乾燥気味で好適な場所ではなく，成虫を採ったのはすべ

て神崎町側（西側）の斜面や谷筋であった。また，文献によると分布しているはずのブナはここでは見つからず，コルリクワガタはコナラに多く見られた。その後の調査でコルリクワガタは北側斜面に広く（と言っても面積はしれている）分布しているようであるが，山頂から南側に続く尾根はササが多く材採集には不向きで，今回は棲息の確認はできなかった。1993年1月17日に調査のため登ったところ，尾根を境として八千代町側は晴れているのに，神崎町側は吹雪で真っ白，5cmほどの積雪があり材も凍結し調査にならなかったが，コルリクワガタの棲息環境を知るうえでよい経験となった。



兵庫県のコルリクワガタは調査が不十分なこともあるが、北西部の鳥取県境付近と北部の日本海側に面した山岳地帯の一部からしか報告されていない。今回発見された笠形山からもっとも近いと思われる宍粟郡芳賀町赤西溪谷でも、直線距離で30km以上も離れている。この地域は兵庫県のみならず、近畿全体から見てもコルリクワガタ分布の空白地帯となっており、非常に興味深い発見となった。

笠形山は播磨富士と言われるようにほぼ独立峰といってよく、特異な植物分布を示す有名な山であるが、昔からの林業地帯でもあり、御多分に漏れず頂上付近まで植林されている。しかし、昆虫の調査はほとんどされておらず、植物同様に面白いものが発見される可能性が高い。蛇足ながら、この付近には鹿が多くあちこちと通り道と糞があり、姿を見ることもよくある。猟期には、コルリクワガタの材を割っていると、猟犬がのぞきに来ることもある。吠えられたことはないが、間違えてハンターに撃たれないよう派手な色の服装で採集を行うことを薦める。

来日岳でコルリクワガタを採集

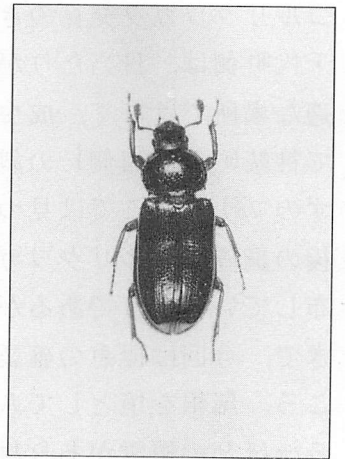
永幡嘉之

城崎温泉の背後にそびえる来日岳（標高567m）でコルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集しているので報告する。

1 ♀ 兵庫県城崎郡城崎町来日岳

25-XI-1992 永幡嘉之

山頂から北東にわずかに下った所のブナ・ミズナラ林の林床の朽ち木から得た。本種としては、かなり低標高の産地であると思われる。採集に際していろいろなアドバイスを頂いた谷角素彦氏に御礼申し上げる。



ナガフトヒゲナガゾウムシについて

佐藤邦夫

筆者は、西脇市大野の自宅灯火に飛来したナガフトヒゲナガゾウムシ *Xylinada striatifrons* を報告した（佐藤，1988）が，その後，多くの本種を採集することができたので，生態面と併せて報告する。

採集記録（すべて筆者採集）

兵庫県西脇市大野

1987-VII-17（1♂），

1988-VI-18（1♀），

1992-VII-27（1♀）

すべて灯火に飛来

兵庫県西脇市中畑町西山

1989-VII-15（2♀♀），

1989-VII-16（8♂♂10♀♀），

1989-VII-23（4♂♂5♀♀）

コナラ伐採木

木

兵庫県西脇市合山町谷山

1991-VII-13（7♂♂5♀♀），1991-VII-15（3♀♀），

1991-VII-24（3♂♂5♀♀），1992-VI-15（1♂3♀♀），

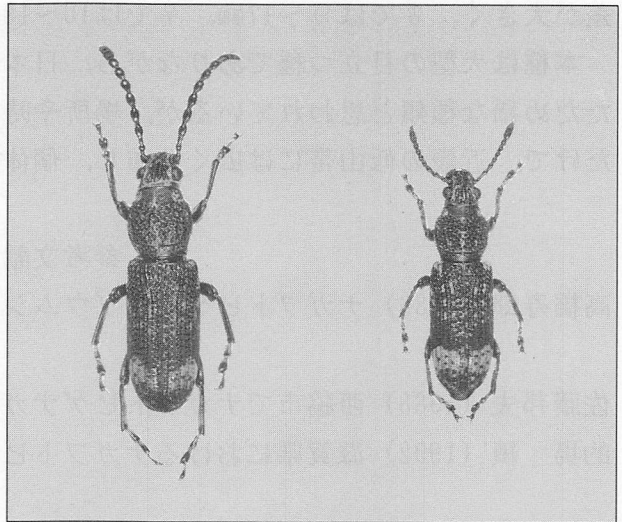
1992-VI-22（1♀）

コナラ伐採木，ヤマザクラ立枯，灯火

兵庫県神崎郡大河内町川上藤ヶ成

1992-VII-22（1♂）

コナラ伐採木



左）中畑町産 右）合山町産

♂

♀

西脇市中畑町と合山町での観察では，昼間はホストと思われるコナラの伐採木

に静止しているのが稀に見られる程度だが、夕方には風通しのよい直径10~20cmほどのコナラ伐採木の下面でさかんに活動を始め、夜間になると上面に出てくる。灯火にもよく集まるようで、電池式のブラックライト（6W）や懐中電灯に飛んできたこともある。採集には夜間の伐採木の見回りが有効であるが、大柄な体に似合わず非常に敏感で、雑に近づくとすぐに落下してしまう。ヤマザクラの立ち枯れで1頭採集しているが、ほとんどは横になったコナラの新しい伐採木で採集しており、同時に得られるシロヒゲナガゾウムシ *Platystomos sellatus* が立ち枯れや立った状態の伐採木に多く見られるのと対照的である。また、体長は個体差が大きく、♂では9~17mm、♀では10~18mmであった。

本種は大型の目立つ種でありながら、日本からの記録は最近になって発表されたため稀な種類と思われるが、場所や時間が甲虫愛好家の盲点になっていただけで、近畿の低山帯には広く分布し、個体数も少なくないようである。

参考文献

高橋寿郎（1986）ナガフトヒゲナガゾウムシを美濃郡吉川町にて採集，

IRATSUME10:46-47.

佐藤邦夫（1988）西脇市でナガフトヒゲナガゾウムシを採集，IRATSUME12:84-85.

的場 績（1992）滋賀県におけるナガフトヒゲナガゾウムシの記録，

月刊むし253:39.

《IRATSUME 投稿規定》

1. 原稿は横書き原稿用紙に，わかりやすく書いてください。
2. 報文には「～である」調を用い，句読点もはつきりさせてください。
3. ワードプロで原稿作成する場合は，1行を36字で仕上げ，句読点にはピリオドとコンマを使用してください。また，ボリュームのある原稿については，印字したものとフロッピーディスクの両方をお送りください。
4. 種名は和名を主としますが，記録報告の場合には学名も表記してください。その際，学名は必要最小限にとどめてください。
5. 分類の紛らわしい種や貴重な記録には，標本写真を付けてください。標本撮影は編集事務局でも行えますので，ご利用ください。
6. 採集データは，次のような形式で記してください。
1♂，兵庫県美方郡温泉町青下，1989-V-15，黒井和之採集。
7. 参考文献は，次のような形式で記してください。
佐藤邦夫(1987) 但馬地方のカミキリムシ，IRATSUME11:72-90。
8. 付図や表組は，そのまま使える完全版下として仕上げてください。IRATSUMEの誌面にうまく収まるよう工夫してください。
9. 原稿は十分に校正してから，ご投稿ください。とくに，わかりにくい表現や無駄な表現がないか，主語と述語がはつきりしているか，数字や学名のスペルに誤りがないかなどについて，チェックしてください。
10. 誤同定やデータに大きな誤りを含んでいる原稿は，掲載をお断りする場合があります。
11. 寄稿者は掲載誌3部を受け取り，原稿掲載料1000円を事務局(振替：神戸2-16245 但馬むしの会)に支払います。
12. 原稿についてのお問い合わせは，谷角素彦まで。

